

新城市 市民満足度調査結果報告書

令和7年12月

新 城 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
1	回答者属性.....	2
2	公共サービスに対する満足度について.....	4
3	平成 19 年度からの満足度の変化.....	7
4	市政運営に関することについて.....	28
III	調査票.....	40

I 調査の概要

1 調査の目的

第2次新城市総合計画【後期基本計画（令和9年度から令和12年度）】の策定に向けて、公共サービスに対する満足度や今後の市政運営に役立てる施策について、市民から意見を聞くために実施しました。

2 調査対象

市内に在住する満18歳以上の住民

3 調査期間

令和7年8月1日～8月22日

4 調査方法

郵送・WEBによる配布・回収

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
4,000件	1,142件 (紙：741件、WEB：401件)	28.6%

【年齢別の回答状況】

	全 体	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不 明
郵送	741件 18.5%	8件 0.2%	50件 1.3%	66件 1.7%	94件 2.4%	117件 2.9%	223件 5.6%	172件 4.3%	11件 0.3%
WEB	401件 10.0%	12件 0.3%	49件 1.2%	106件 2.7%	94件 2.4%	73件 1.8%	57件 1.4%	10件 0.3%	0件 0.0%
計	1,142件 28.6%	16件 0.4%	99件 2.5%	172件 4.3%	188件 4.7%	190件 4.8%	280件 7.0%	182件 4.6%	11件 0.3%

6 調査結果の表示方法

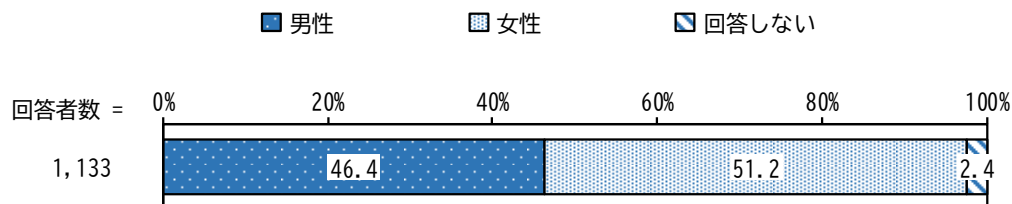
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

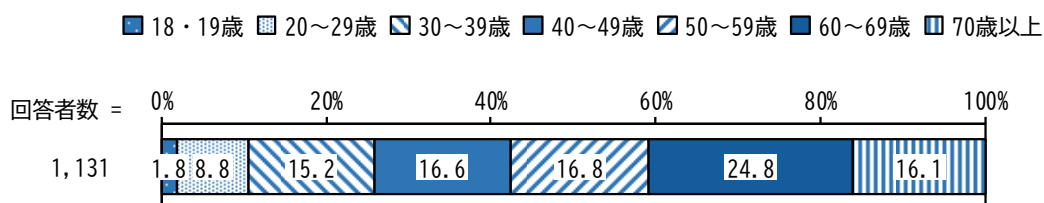
問1 あなたの性別をご記入ください。

「男性」の割合が46.4%、「女性」の割合が51.2%となっています。



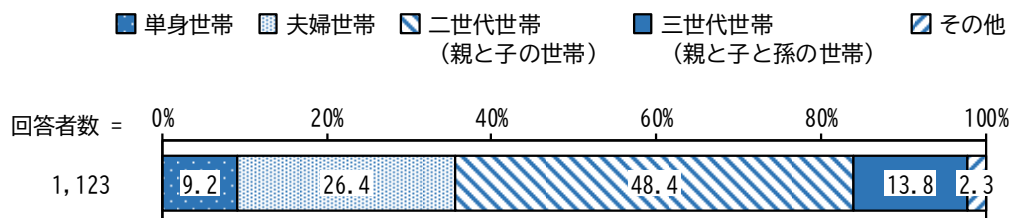
問2 あなたの年齢をご記入ください。

「60～69 歳」の割合が24.8%と最も高く、次いで「50～59 歳」の割合が16.8%、「40～49 歳」の割合が16.6%となっています。



問3 あなたの家族構成をご記入ください。

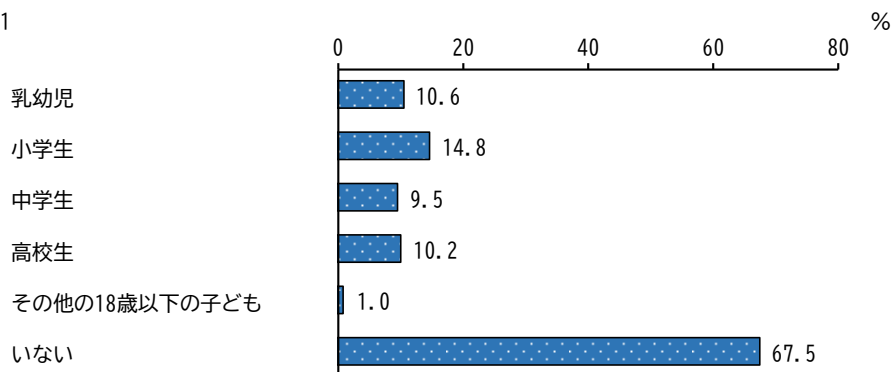
「二世世代世帯（親と子の世帯）」の割合が48.4%と最も高く、次いで「夫婦世帯」の割合が26.4%、「三世世代世帯（親と子と孫の世帯）」の割合が13.8%となっています。



問4 あなたの世帯の18歳以下の子どもをご記入ください。
(あてはまる番号すべてに○印をつけてください。)

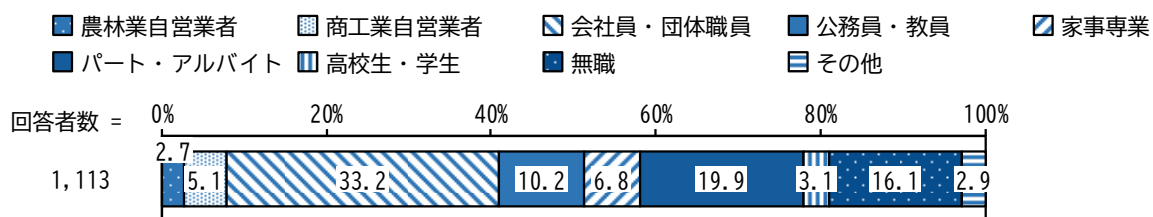
「いない」の割合が67.5%と最も高く、次いで「小学生」の割合が14.8%、「乳幼児」の割合が10.6%となっています。

回答者数 = 1,091



問5 あなたの職業をご記入ください。

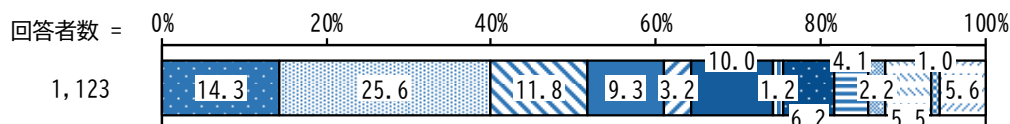
「会社員・団体職員」の割合が33.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が19.9%、「無職」の割合が16.1%となっています。



問6 あなたがお住まいの小学校区をご記入ください。

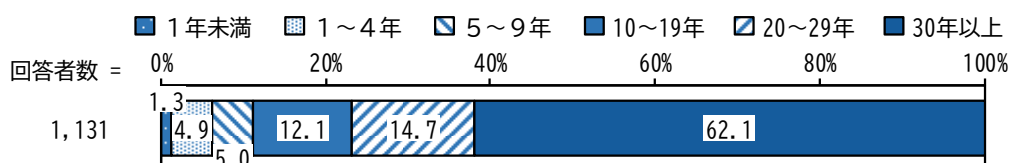
「千郷小学校区」の割合が25.6%と最も高く、次いで「新城小学校区」の割合が14.3%、「東郷西小学校区」の割合が11.8%となっています。

新城小学校区 千郷小学校区 東郷西小学校区 東郷東小学校区 舟着小学校区 八名小学校区 庭野小学校区
鳳来中部小学校区 鳳来寺小学校区 黄柳川小学校区 東陽小学校区 鳳来東小学校区 作手小学校区



問7 あなたは、新城市にお住まいになって何年になりますか。旧市町村（新城市、鳳来町、作手村）を含めた通算年数でお答えください。

「30年以上」の割合が62.1%と最も高く、次いで「20～29年」の割合が14.7%、「10～19年」の割合が12.1%となっています。

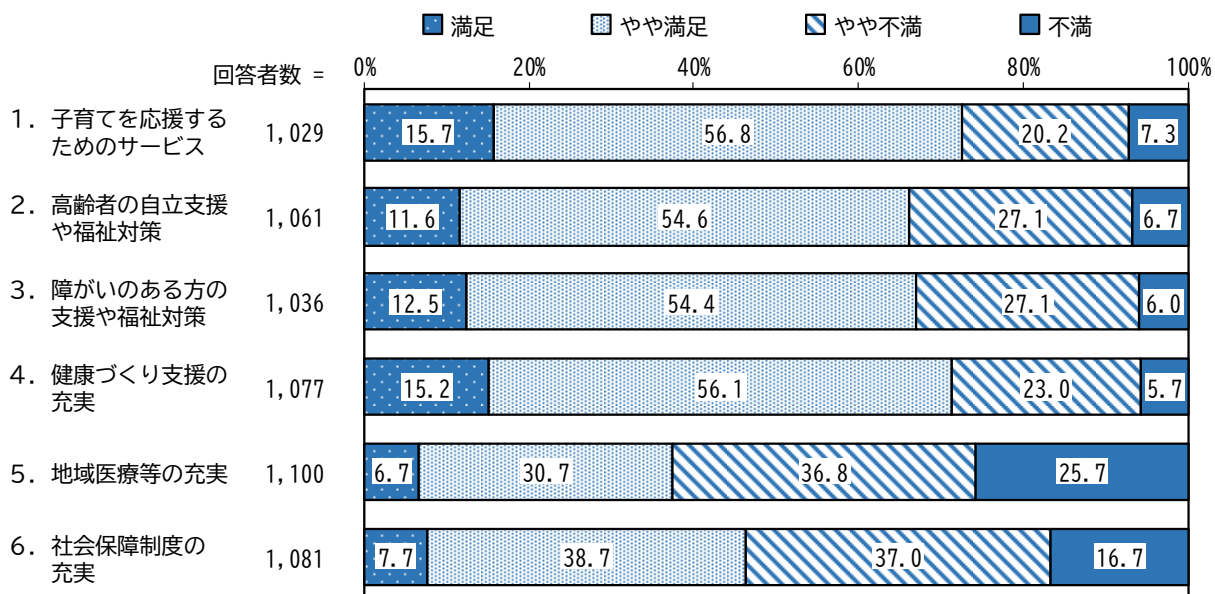


2 公共サービスに対する満足度について

問8 新城市内の公共サービスについて、あなたはどの程度満足していますか。それぞれ該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。

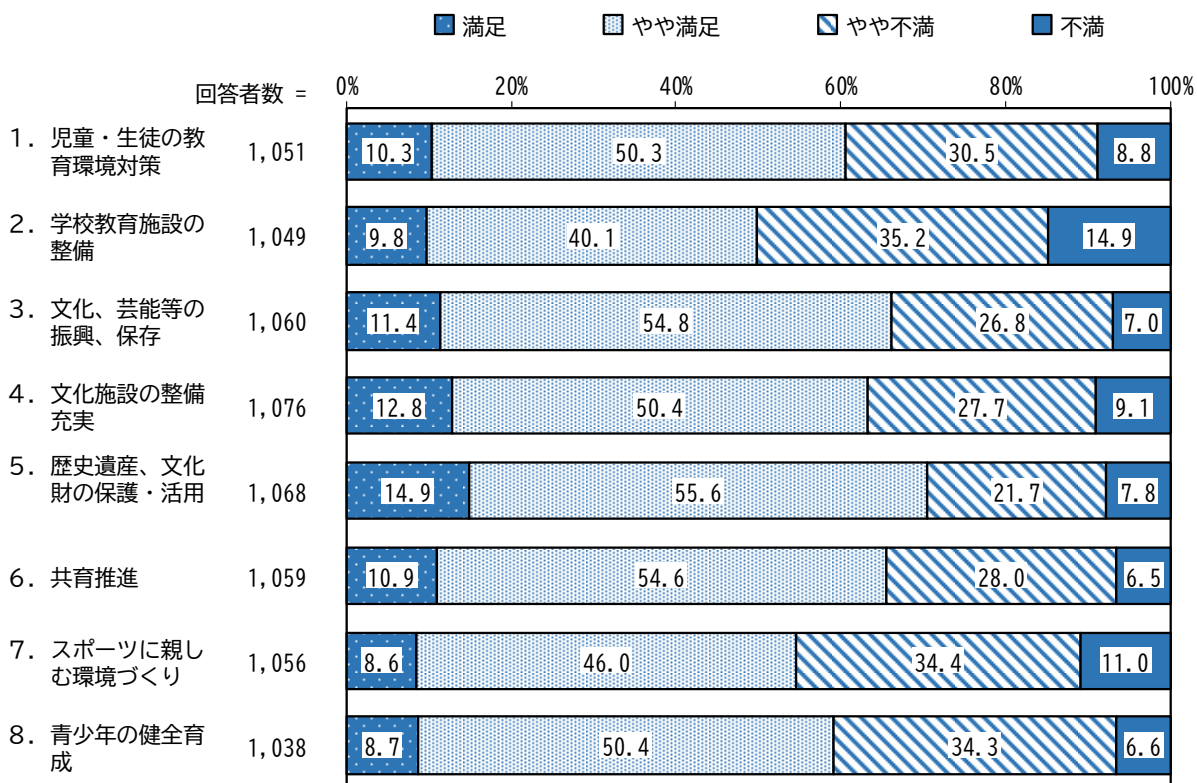
A 福祉・健康分野

『1. 子育てを応援するためのサービス』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『5. 地域医療等の充実』で“満足”が低くなっています。



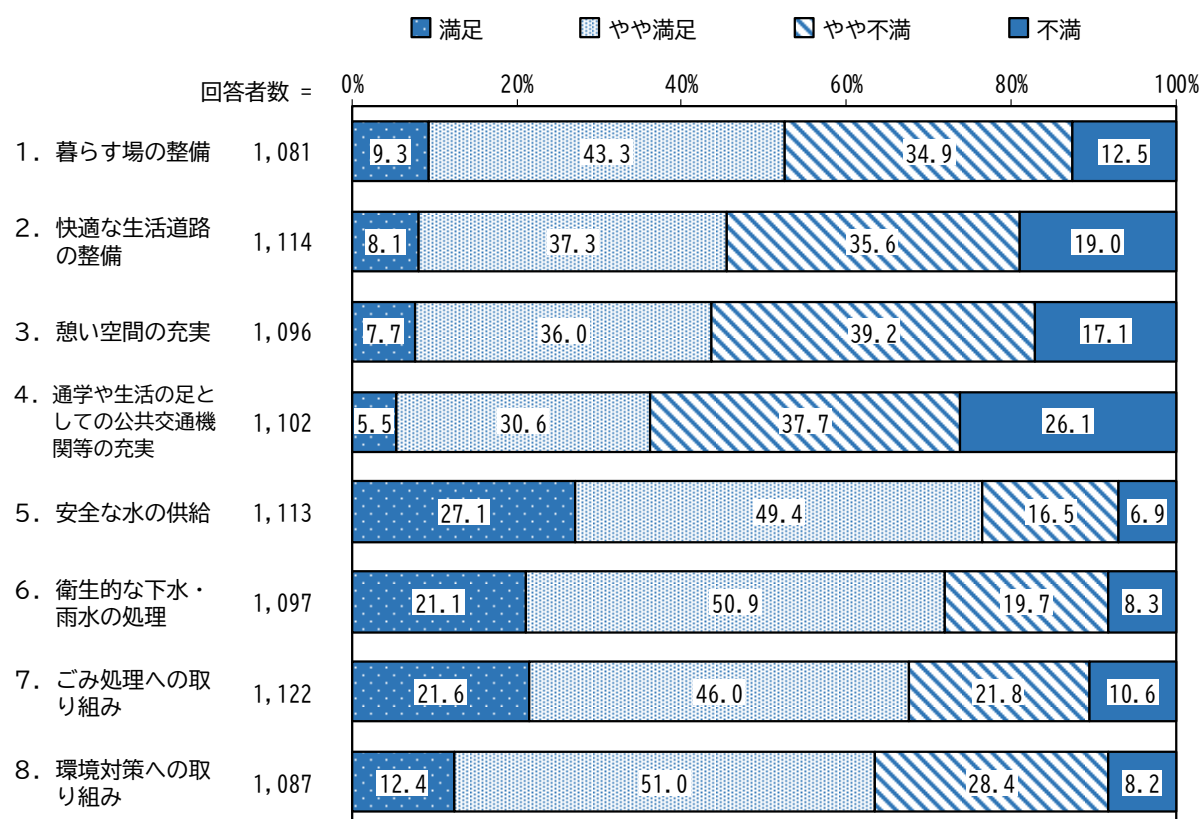
B 教育・文化・生涯学習分野

『5. 歴史遺産、文化財の保護・活用』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『2. 学校教育施設の整備』で“満足”が低くなっています。



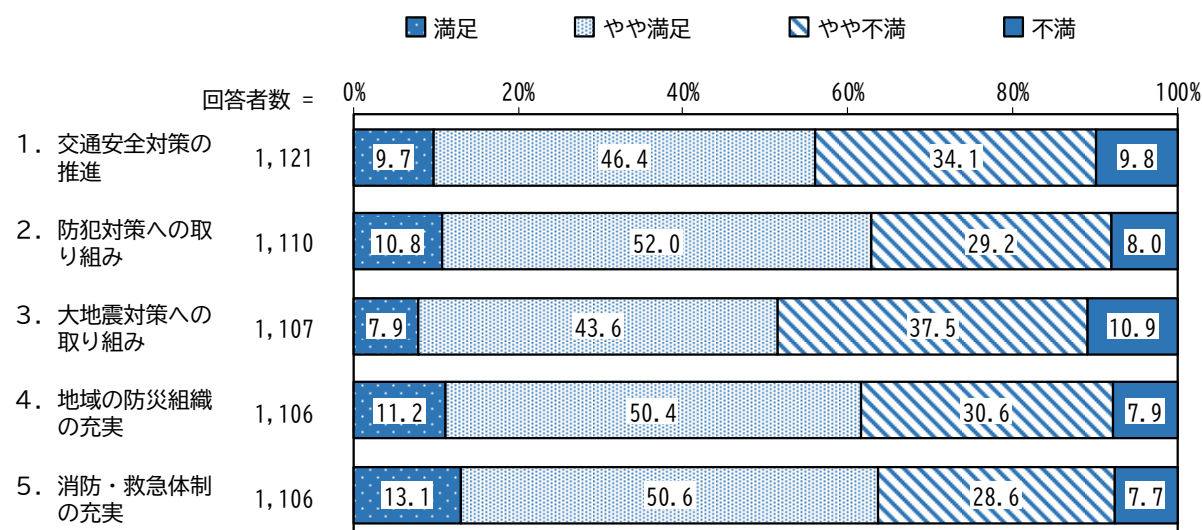
C 生活・環境分野

『5. 安全な水の供給』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『4. 通学や生活の足としての公共交通機関等の充実』で“満足”が低くなっています。



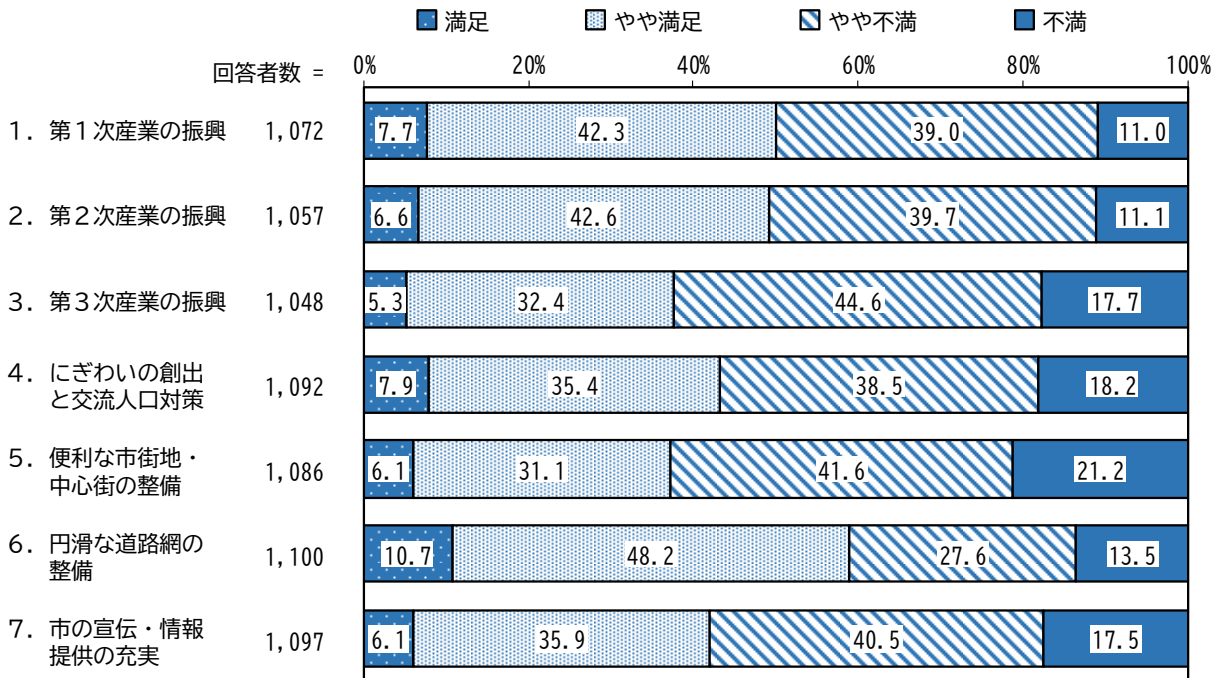
D 安全・安心対策分野

『5. 消防・救急体制の充実』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『3. 防犯対策への取り組み』で“満足”が低くなっています。



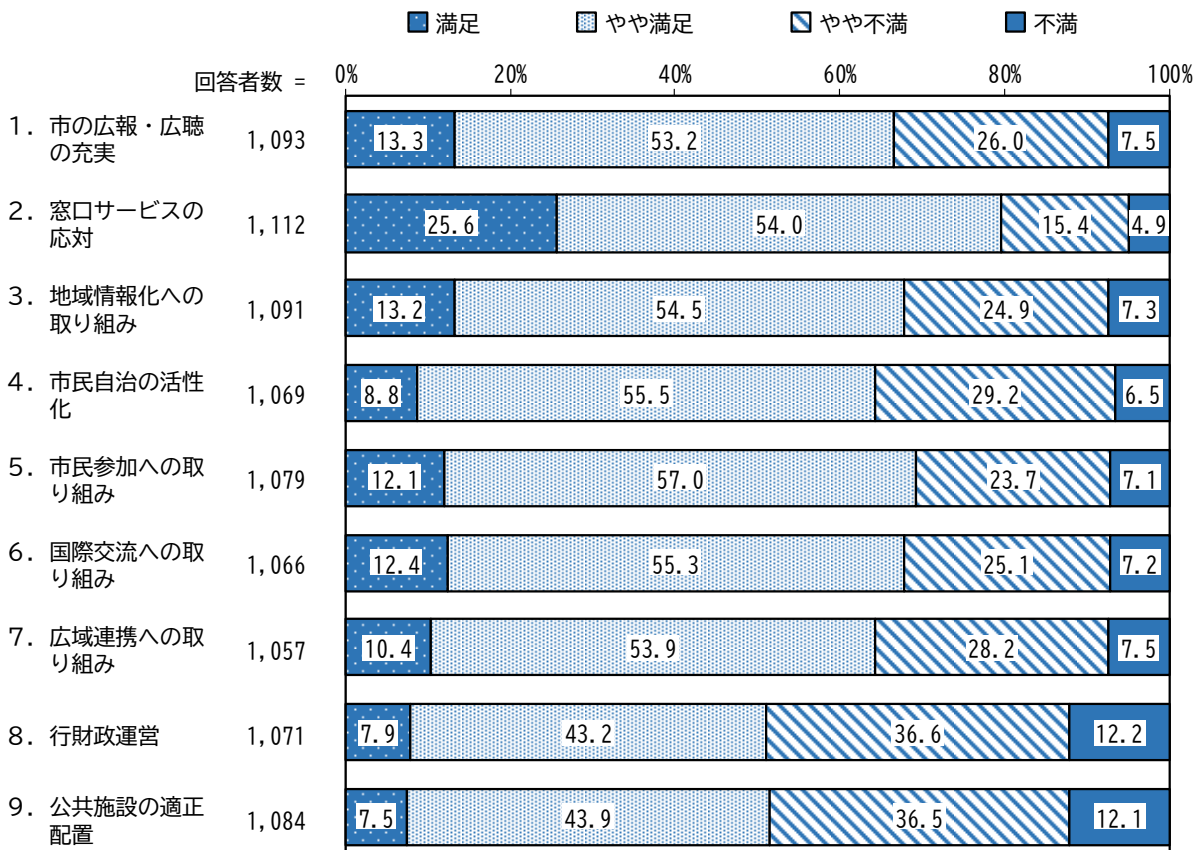
E 産業・経済・都市基盤分野

『6. 円滑な道路網の整備』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『5. 便利な市街地・中心街の整備』で“満足”が低くなっています。



F 総合的分野

『2. 窓口サービスの対応』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が高くなっています。一方、『8. 行財政運営』で“満足”が低くなっています。

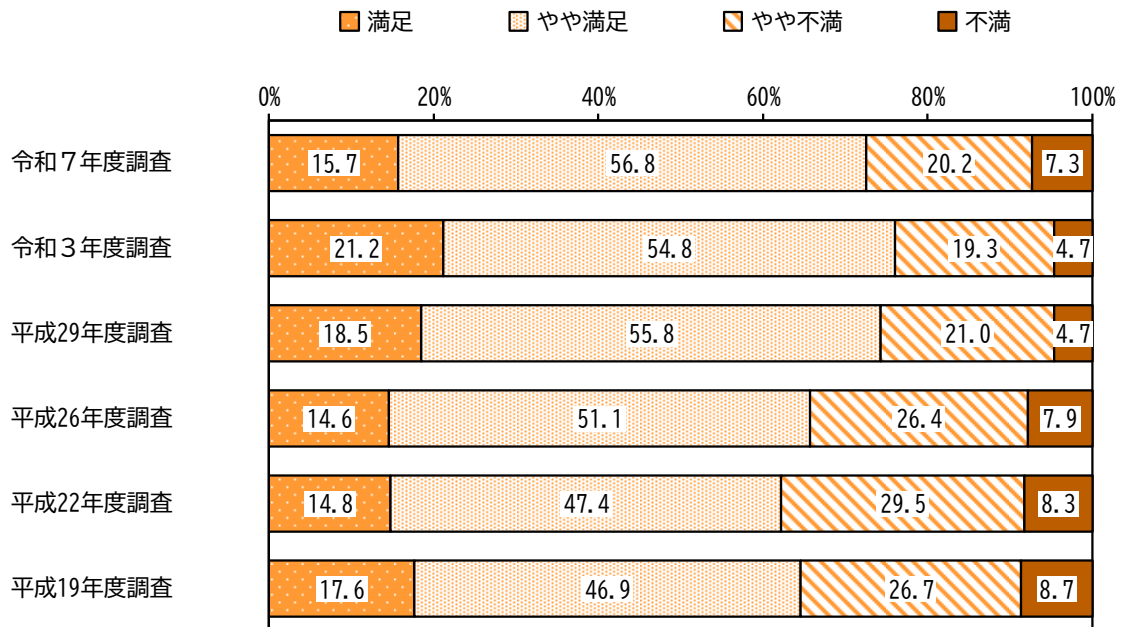


3 平成 19 年度からの満足度の変化

A 福祉・健康分野

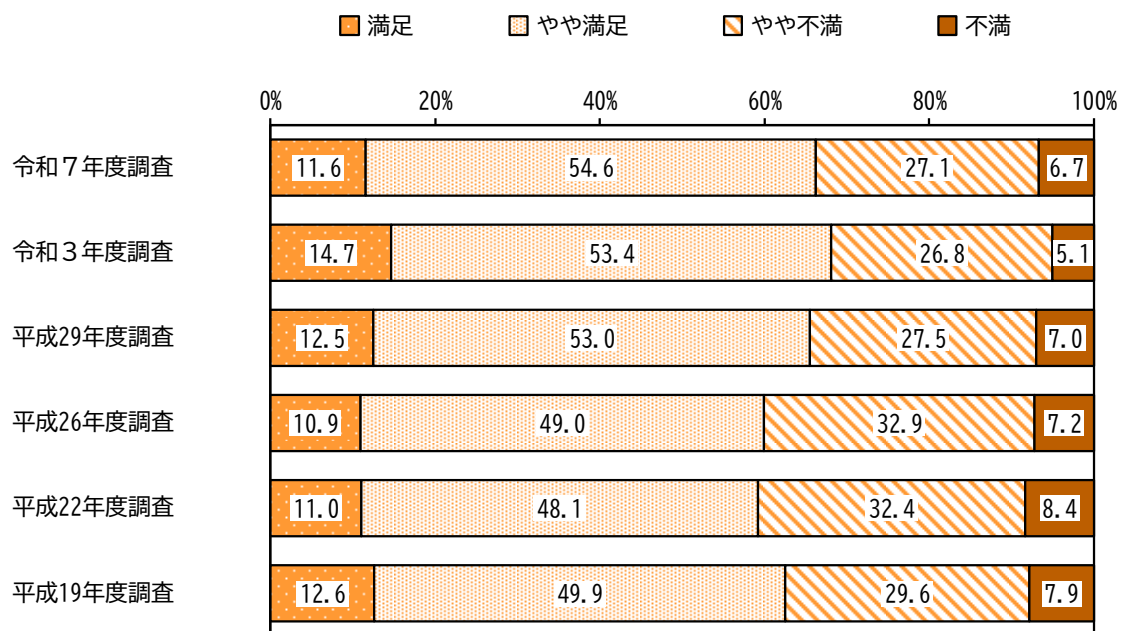
1. 子育てを応援するためのサービス

過去調査と比較すると、平成 19 年度調査から「やや満足」の割合が増加傾向にあります。
また、令和 3 年度調査から「満足」の割合が減少しています。



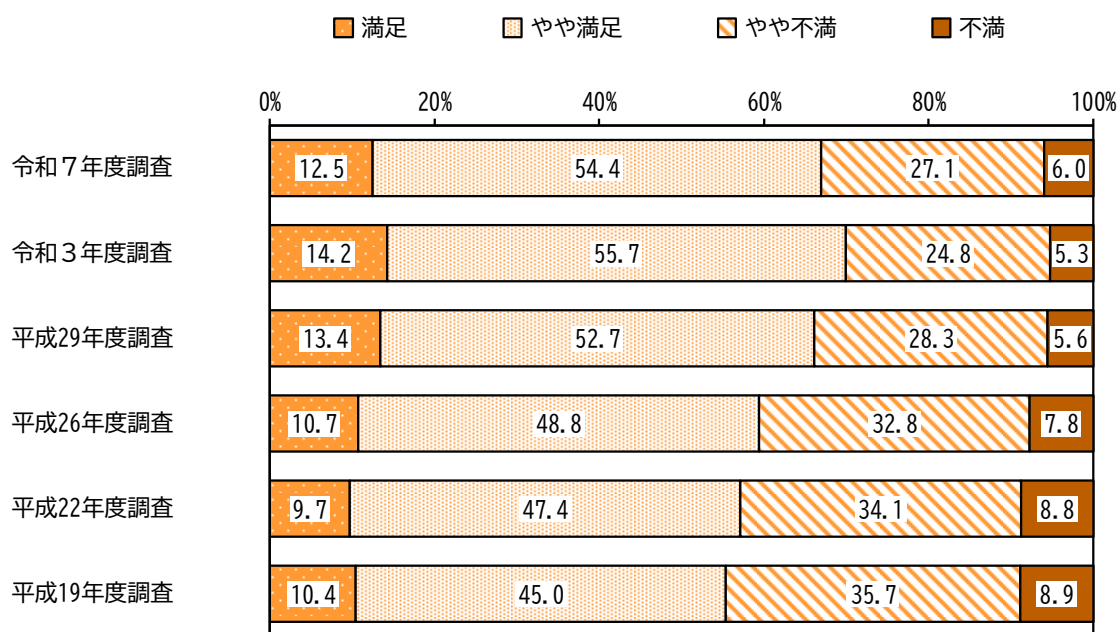
2. 高齢者の自立支援や福祉対策

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



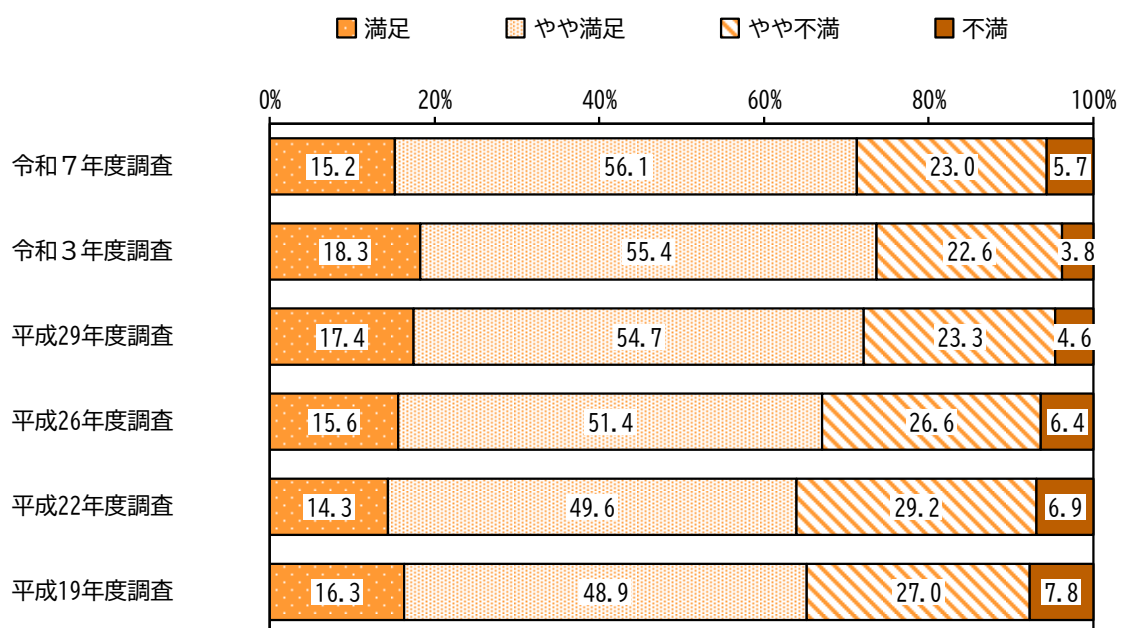
3. 障がいのある方の支援や福祉対策

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



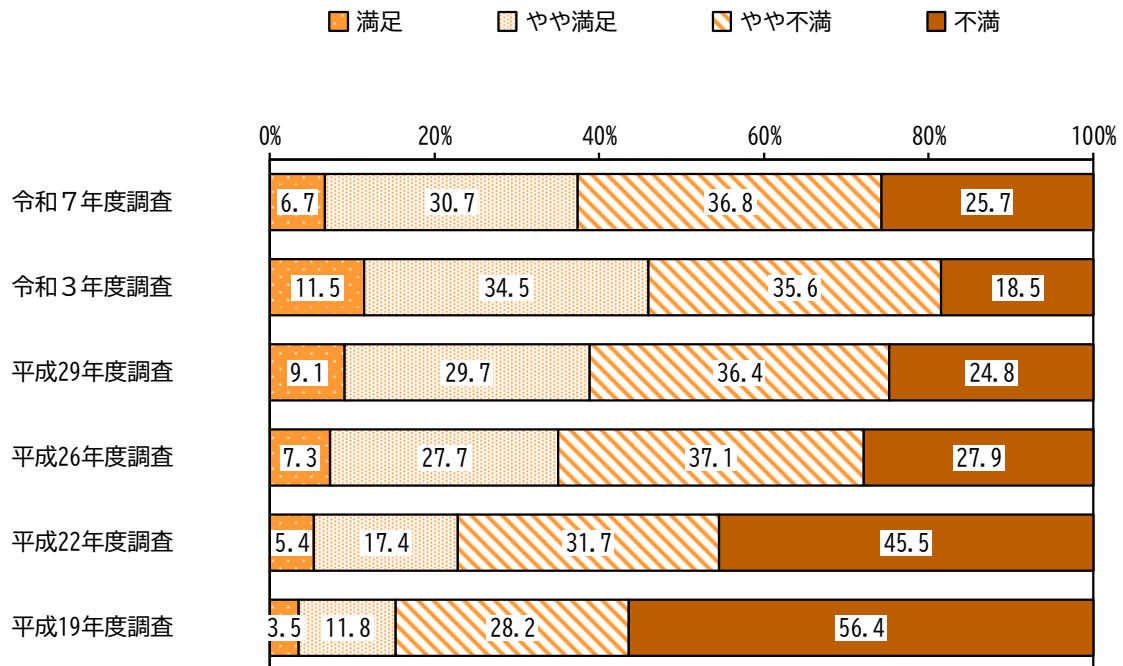
4. 健康づくり支援の充実

過去調査と比較すると、平成19年度調査から「やや満足」の割合が増加しています。



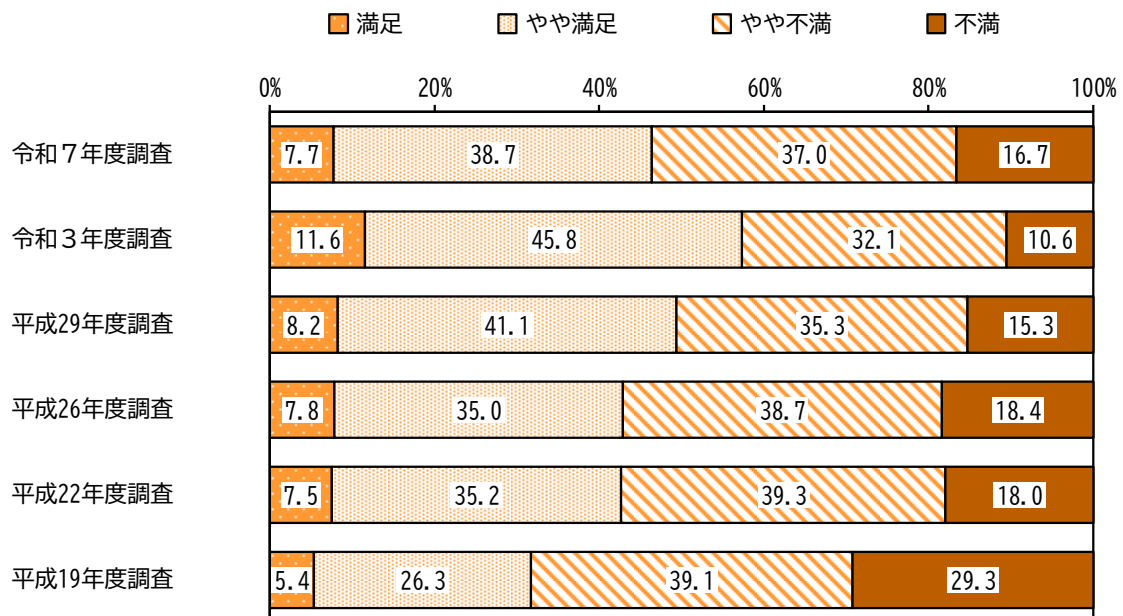
5. 地域医療等の充実

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



6. 社会保障制度の充実

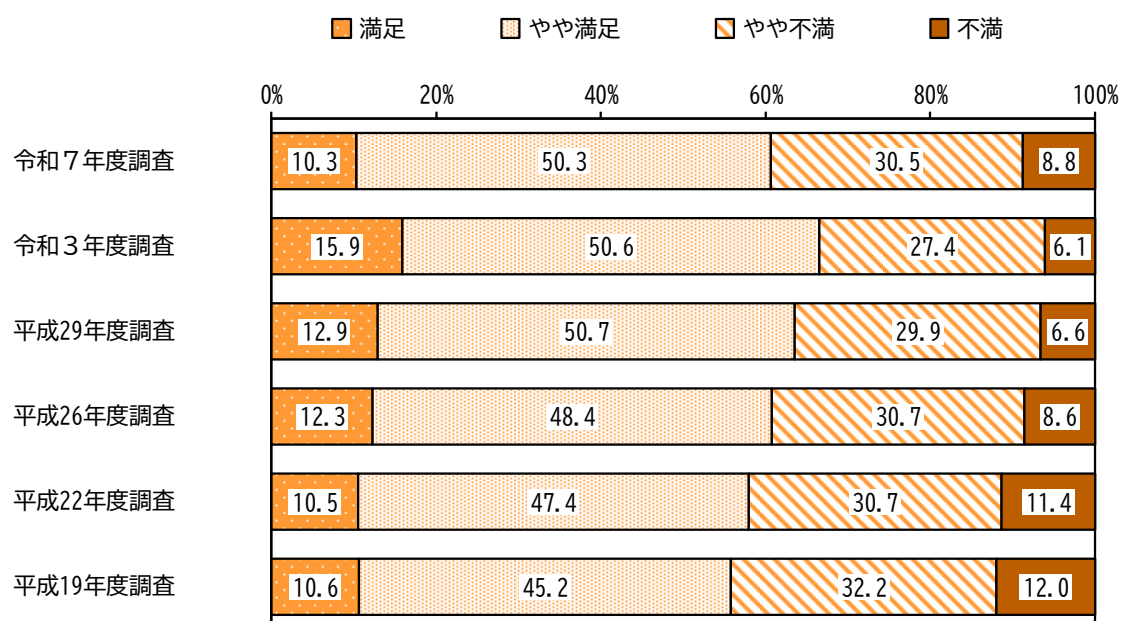
過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



B 教育・文化・生涯学習分野

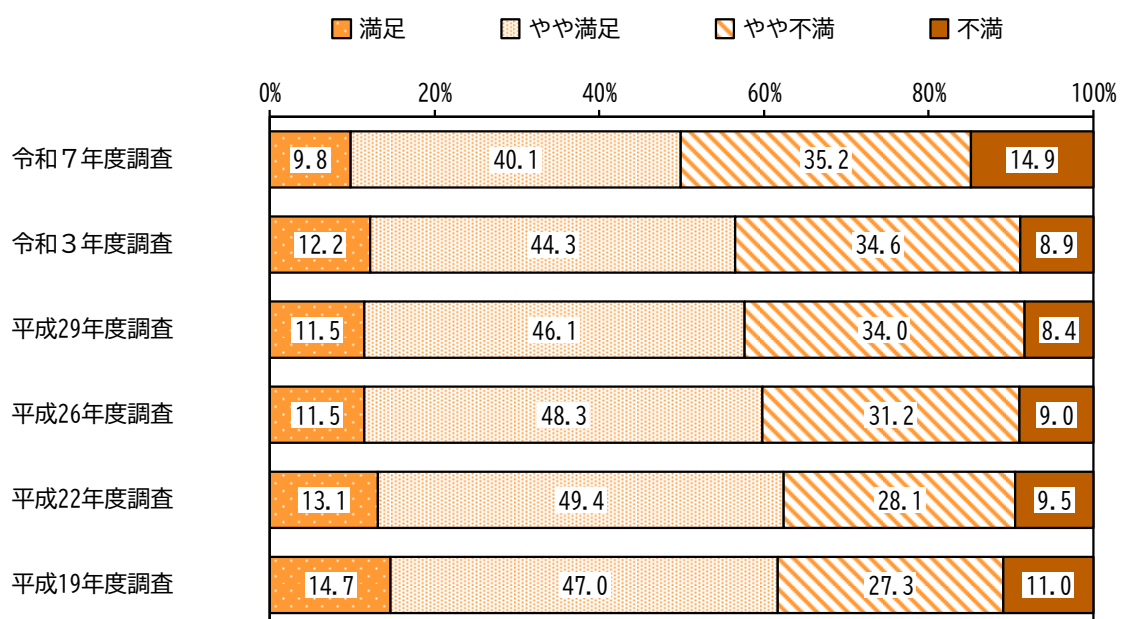
1. 児童・生徒の教育環境対策

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



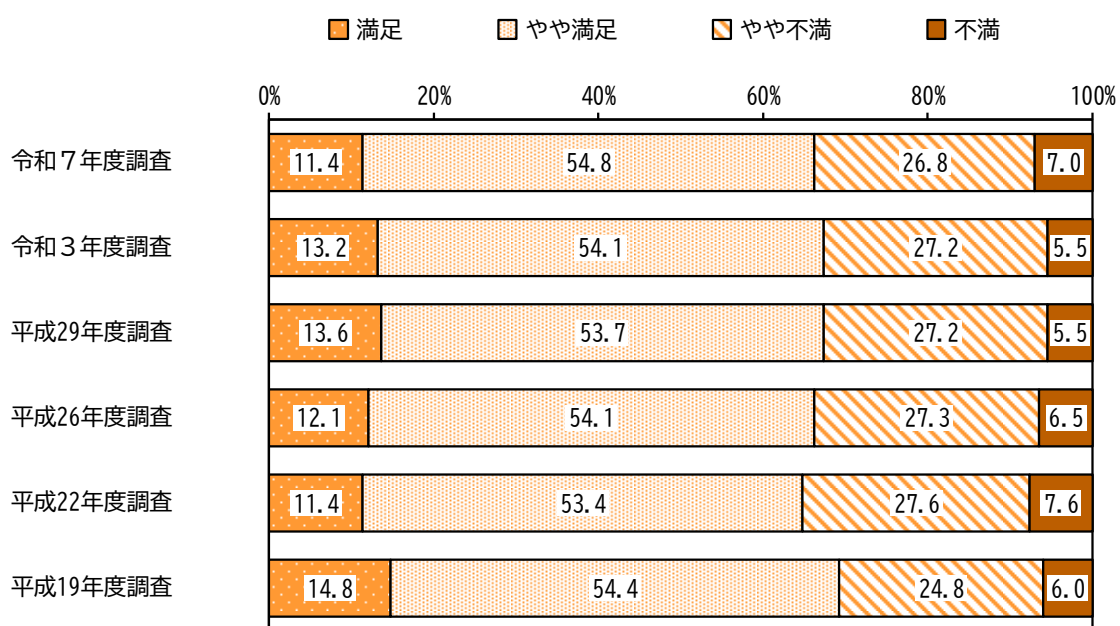
2. 学校教育施設の整備

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



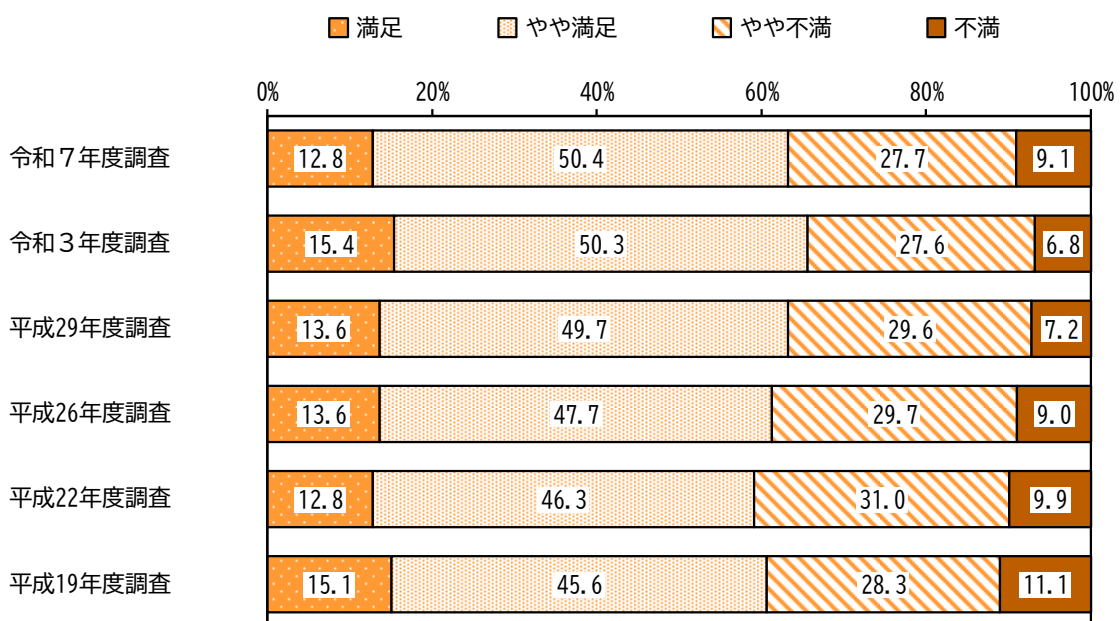
3. 文化、芸能等の振興、保存

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



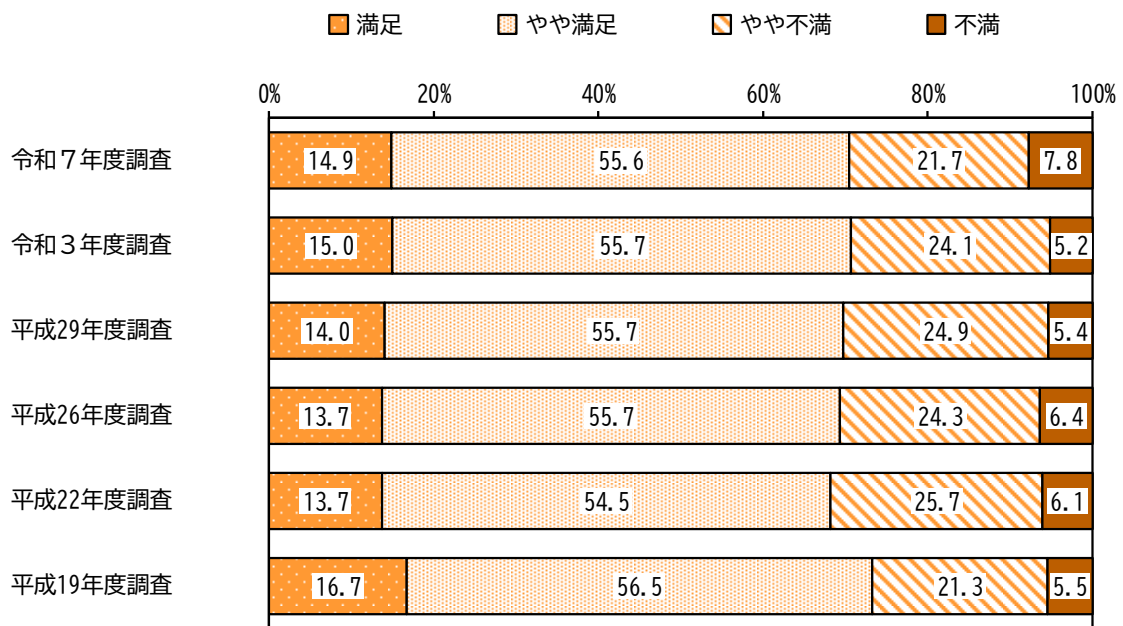
4. 文化施設の整備充実

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



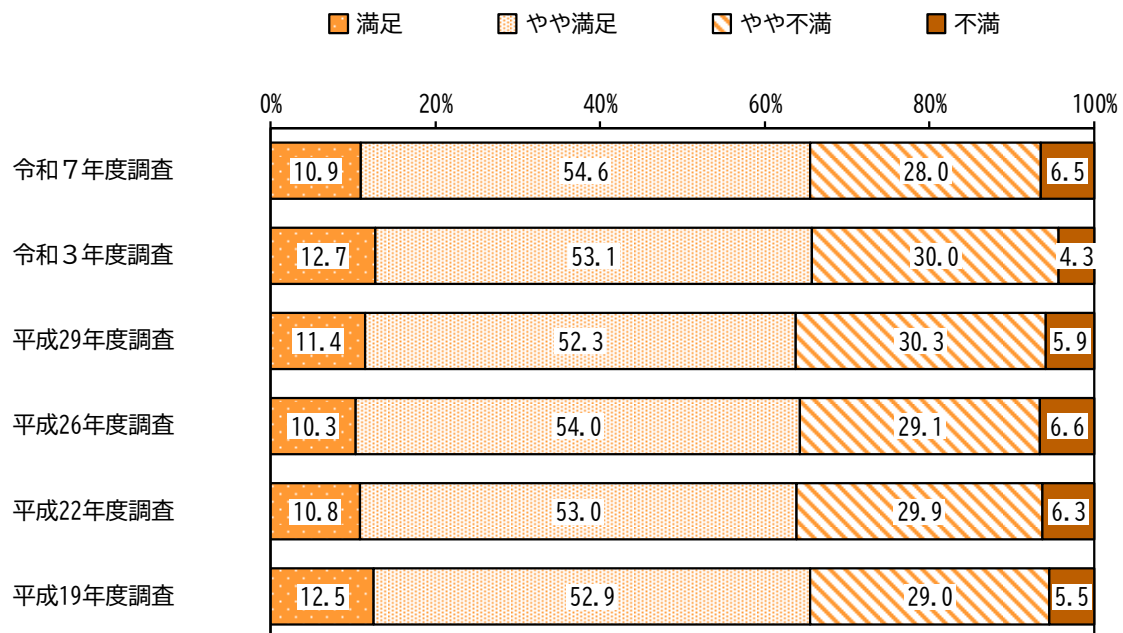
5. 歴史遺産、文化財の保護・活用

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



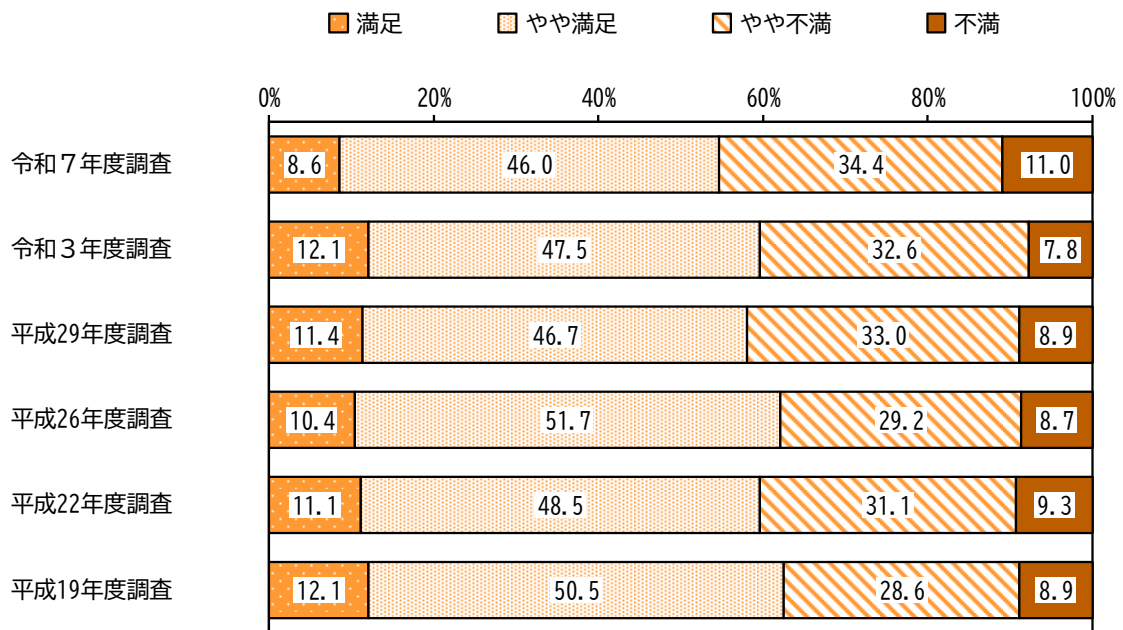
6. 共育推進

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



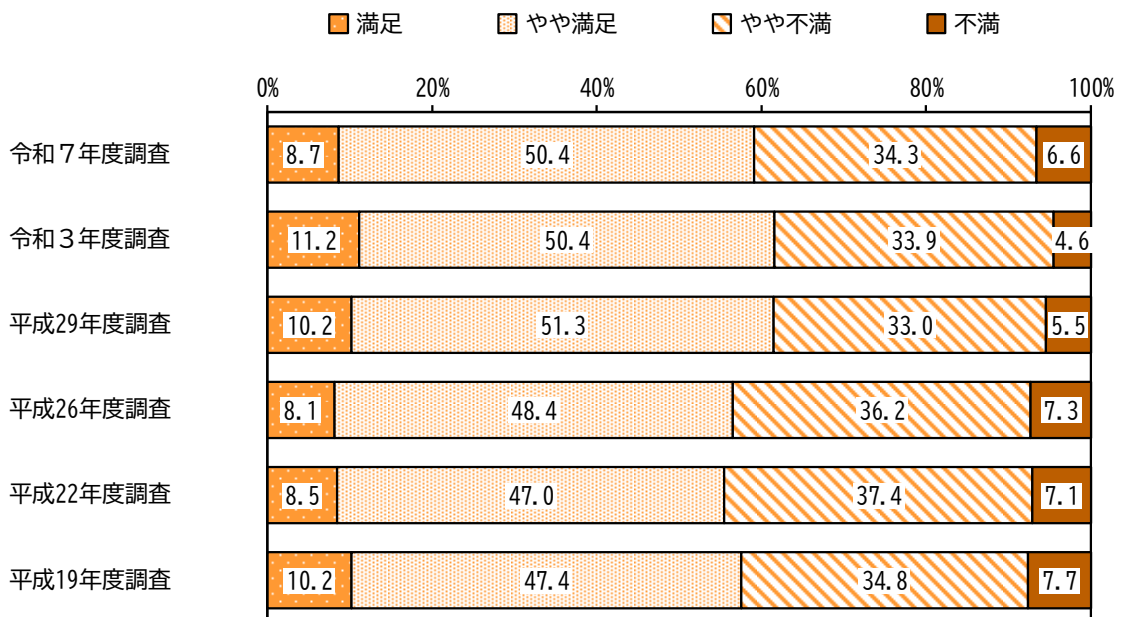
7. スポーツに親しむ環境づくり

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



8. 青少年の健全育成

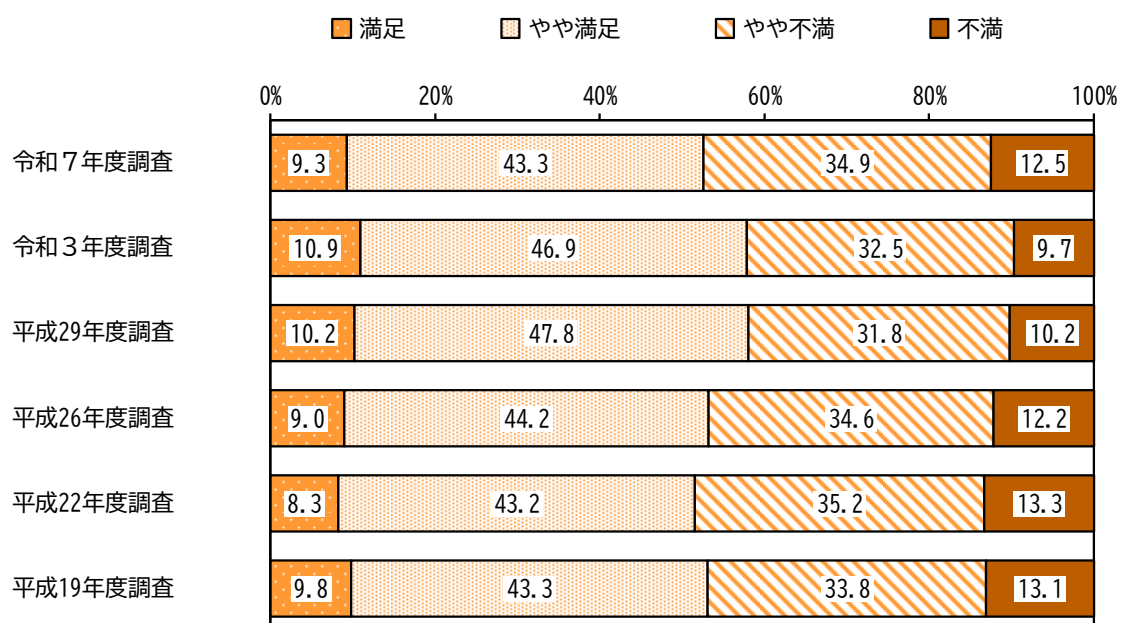
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



C 生活・環境分野

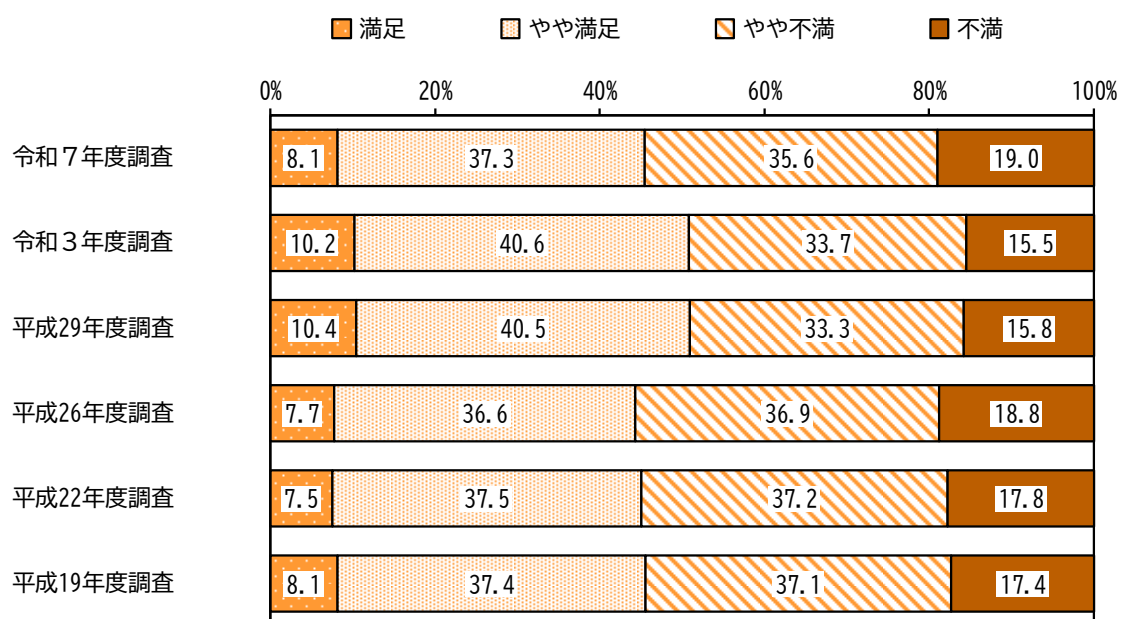
1. 暮らす場の整備

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



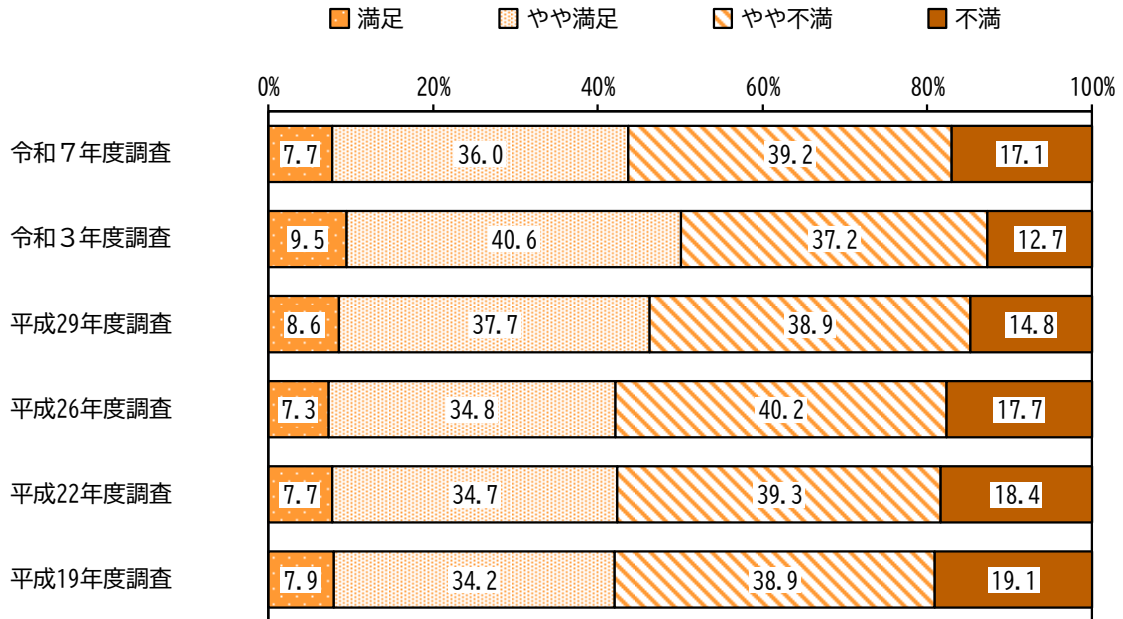
2. 快適な生活道路の整備

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



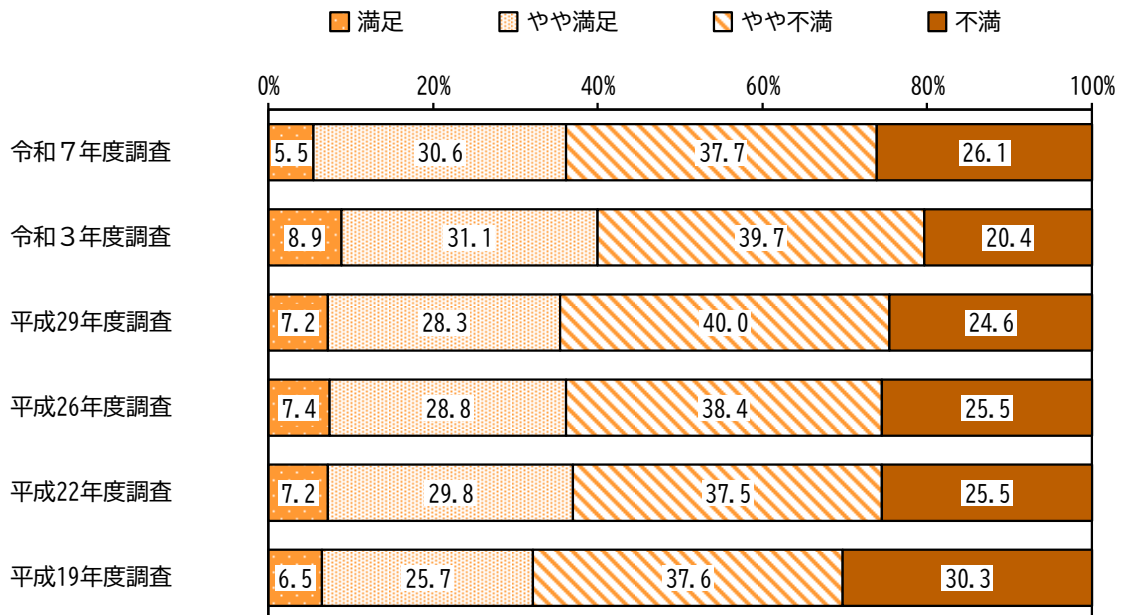
3. 憩い空間の充実

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



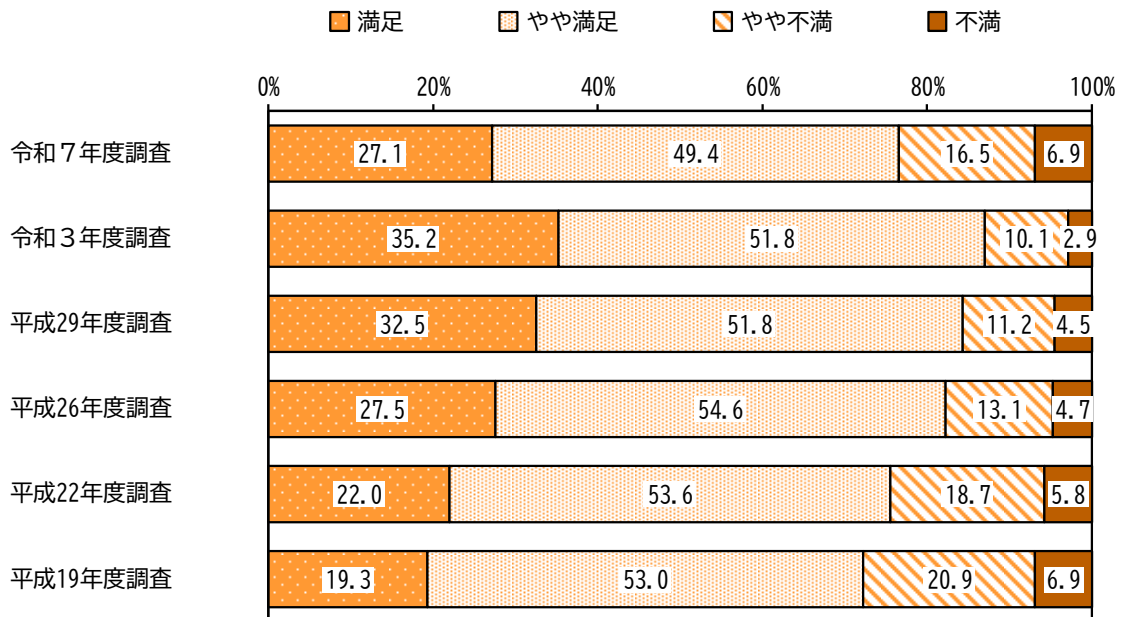
4. 通学や生活の足としての公共交通機関等の充実

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」の割合が減少しています。



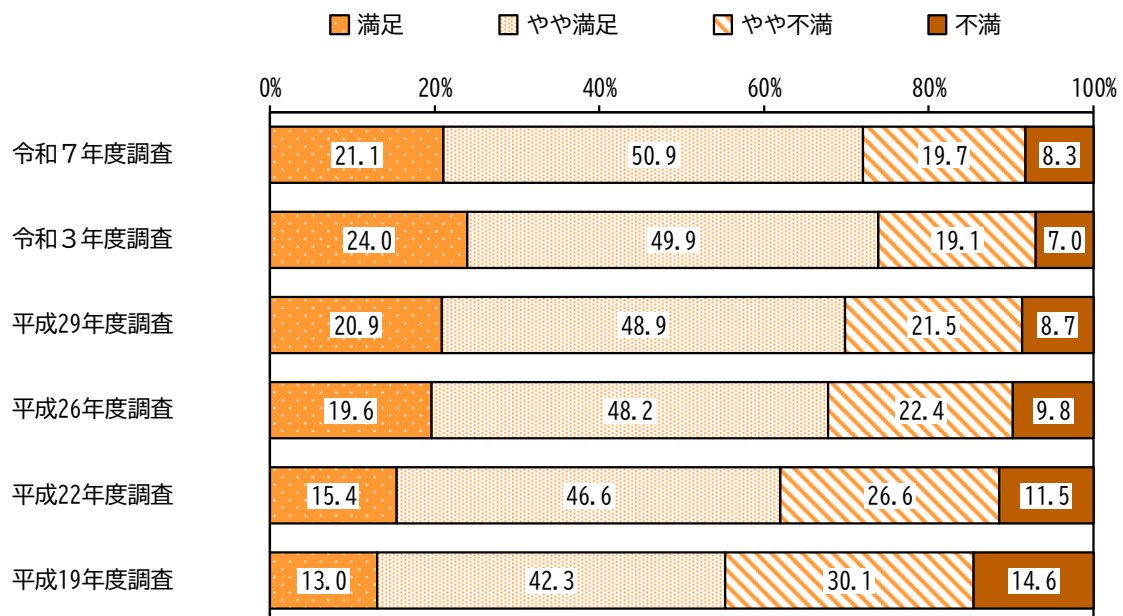
5. 安全な水の供給

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



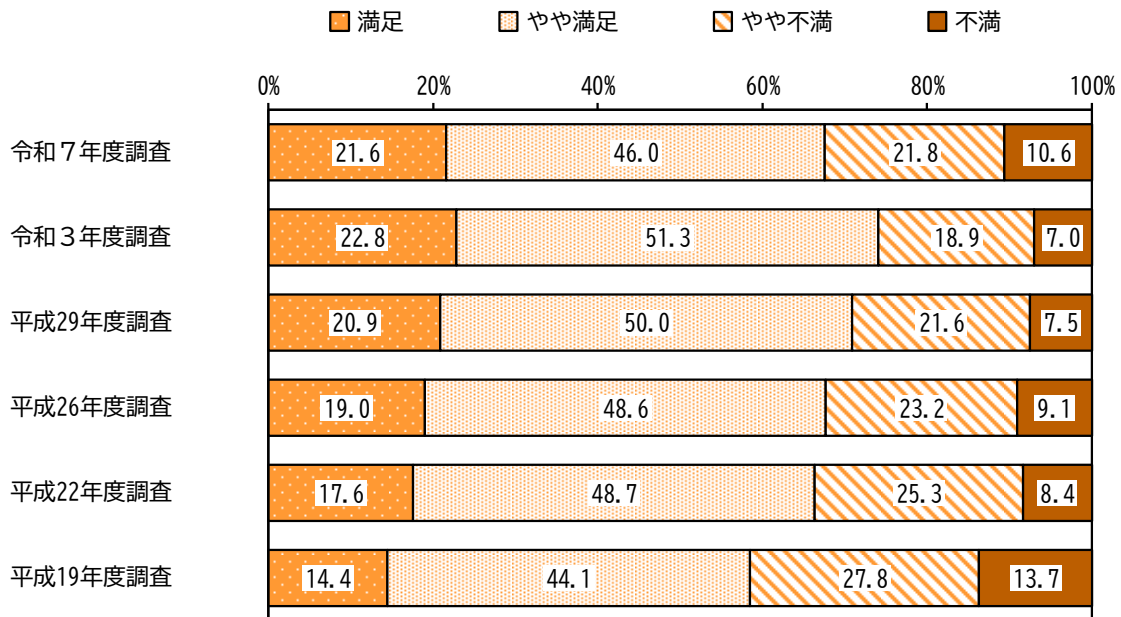
6. 衛生的な下水・雨水の処理

過去調査と比較すると、平成19年度調査から「やや満足」の割合が増加しています。



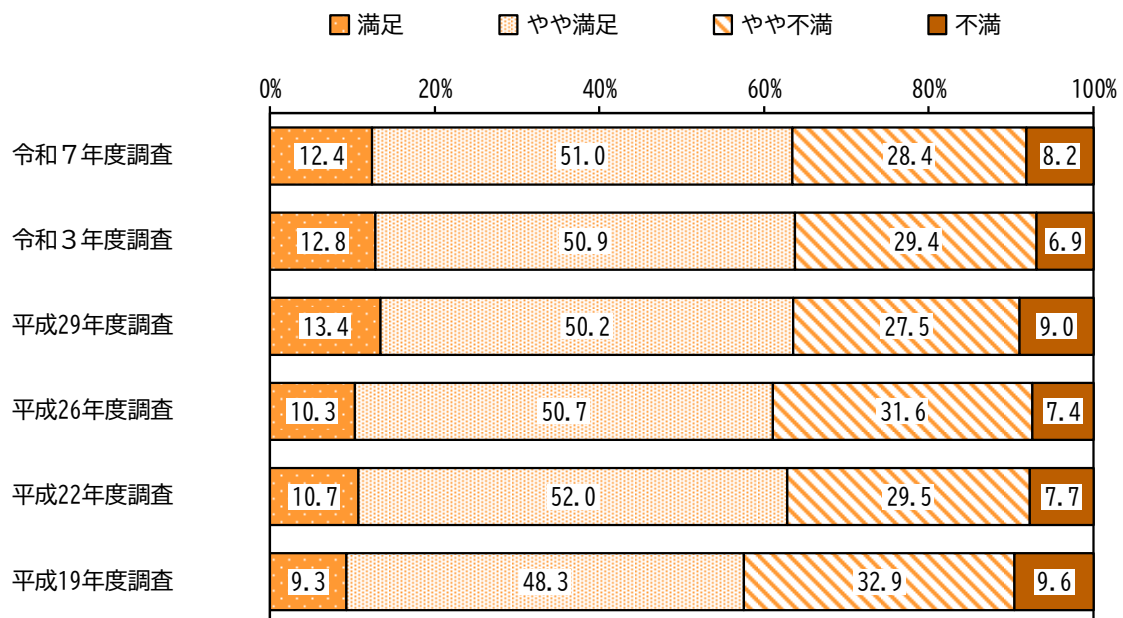
7. ごみ処理への取り組み

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



8. 環境対策への取り組み

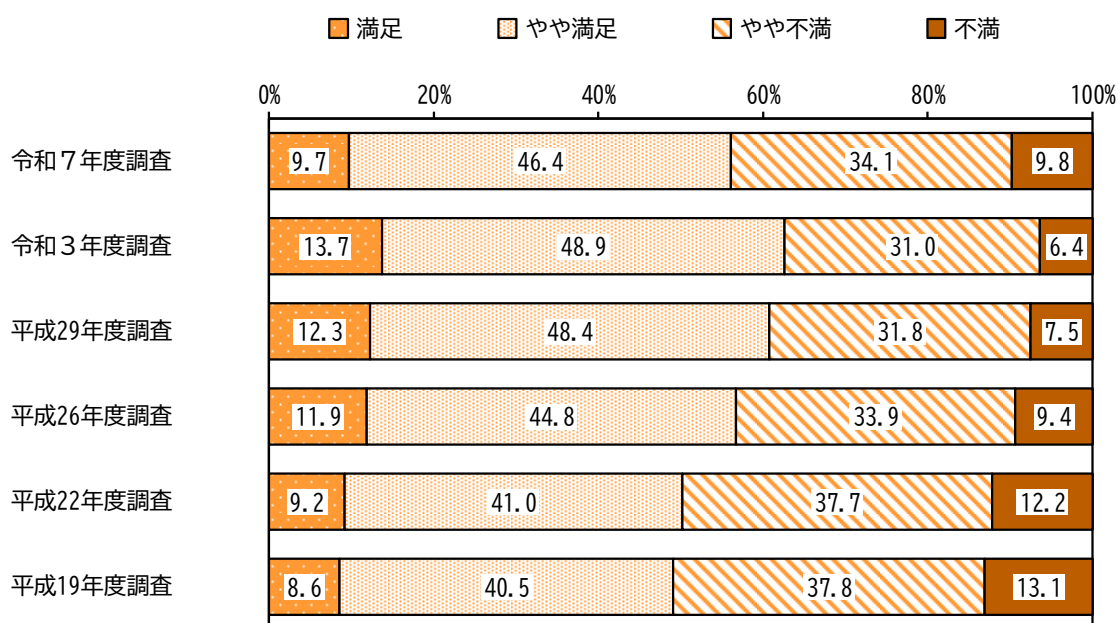
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



D 安全・安心対策分野

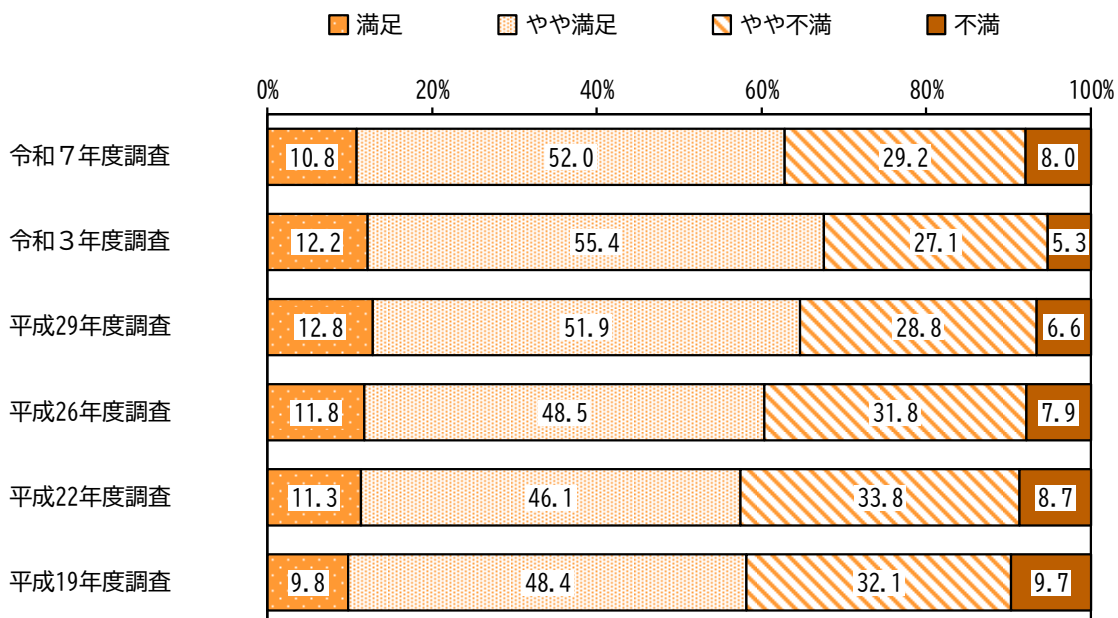
1. 交通安全対策の推進

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



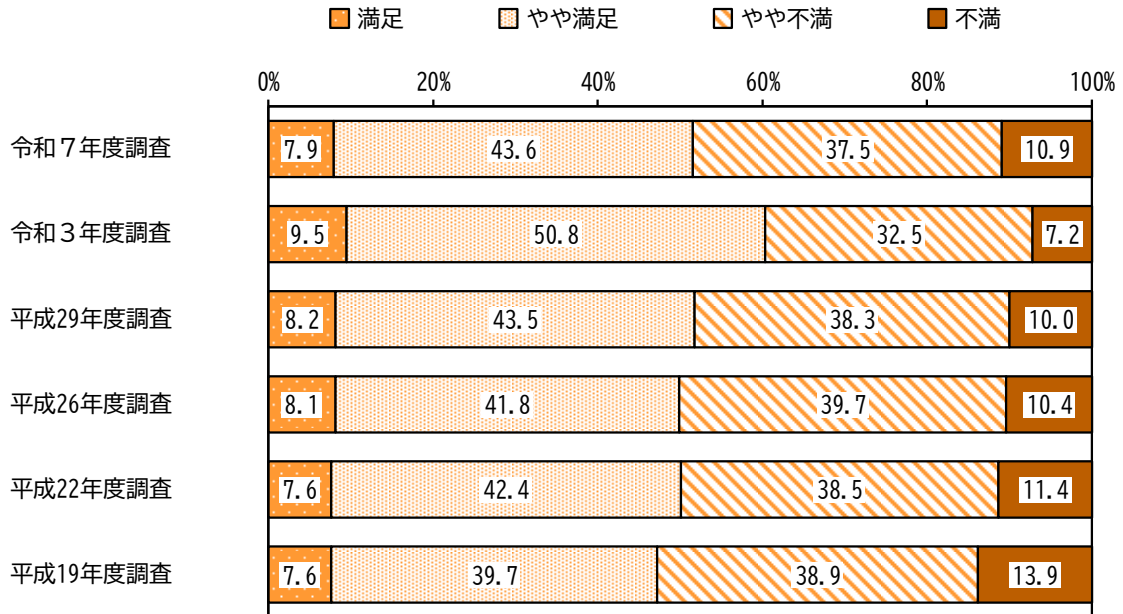
2. 防犯対策への取り組み

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



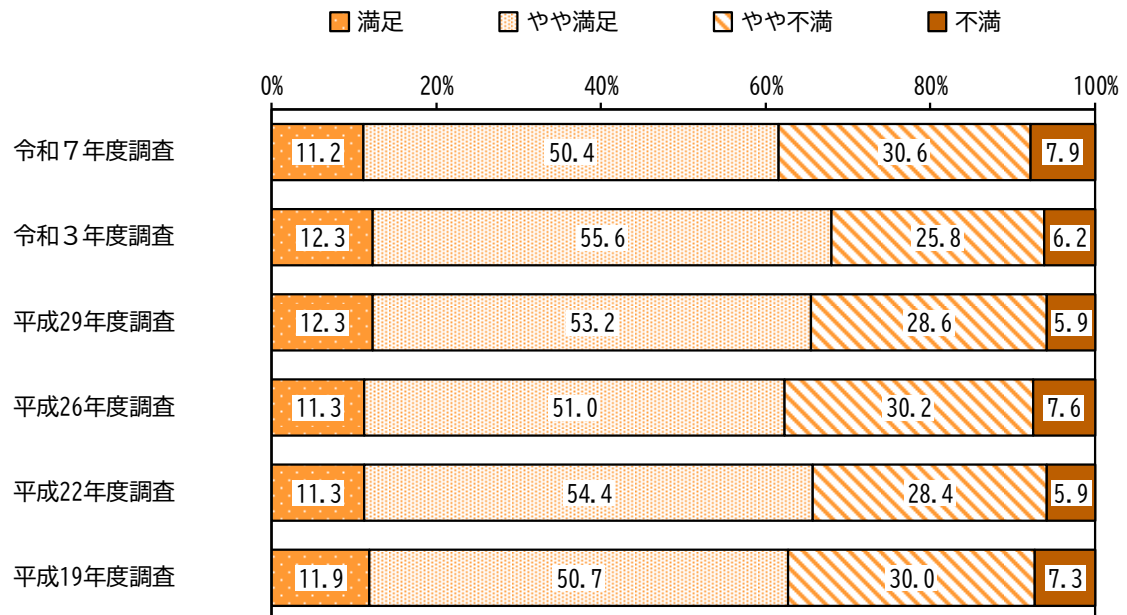
3. 大地震対策への取り組み

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



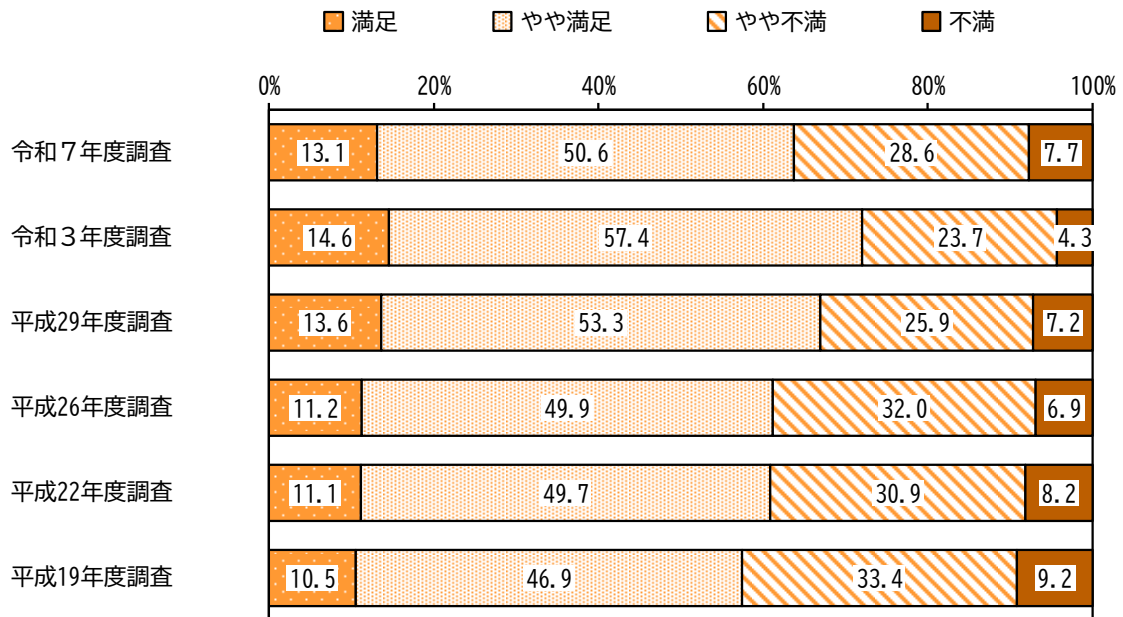
4. 地域の防災組織の充実

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



5. 消防・救急体制の充実

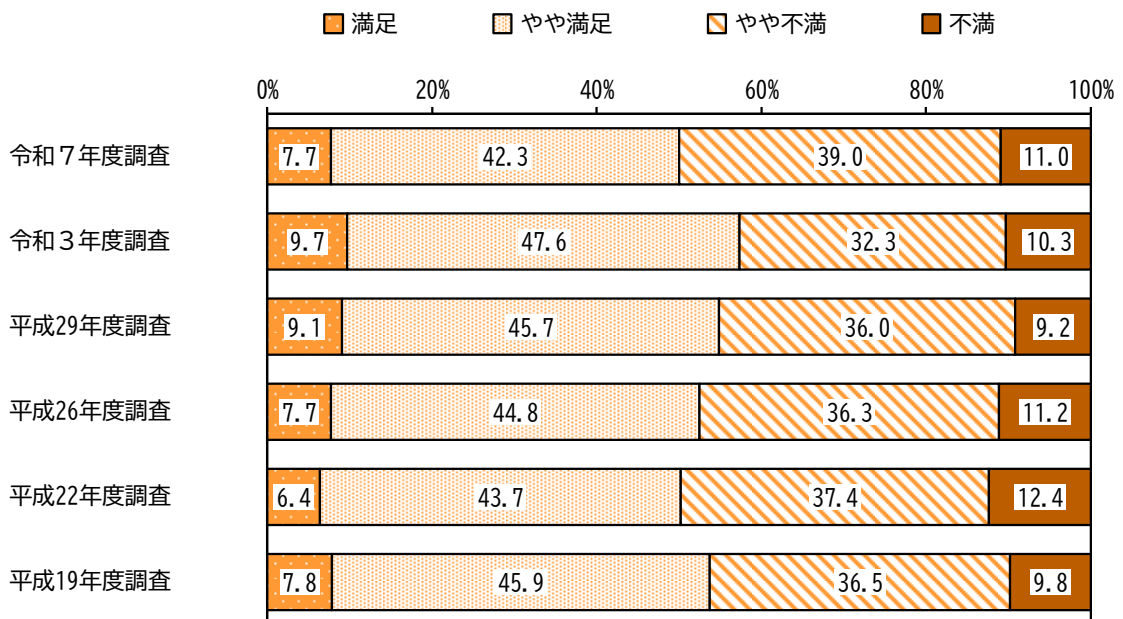
過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



E 産業・経済・都市基盤分野

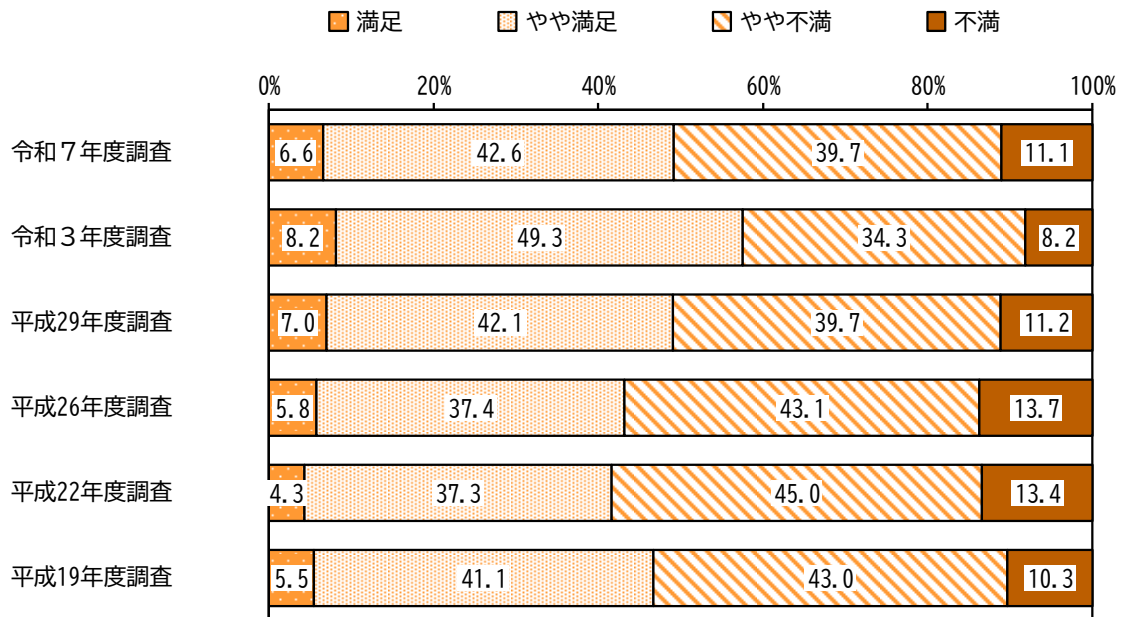
1. 第1次産業（農林水産業）の振興

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



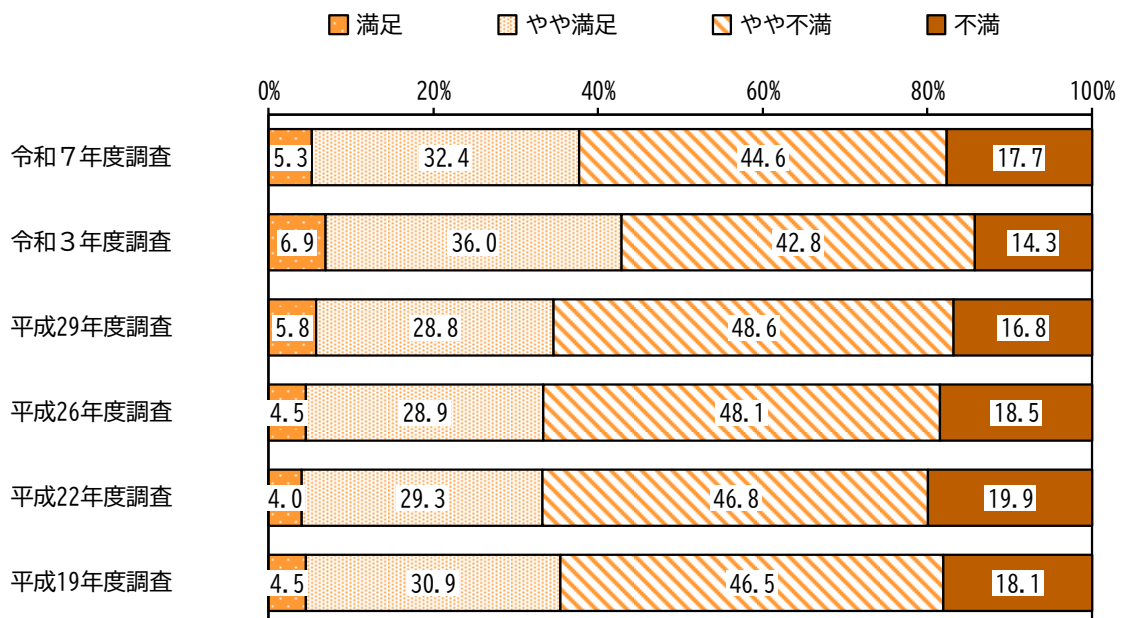
2. 第2次産業（鉱業、建設業、製造業）の振興

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



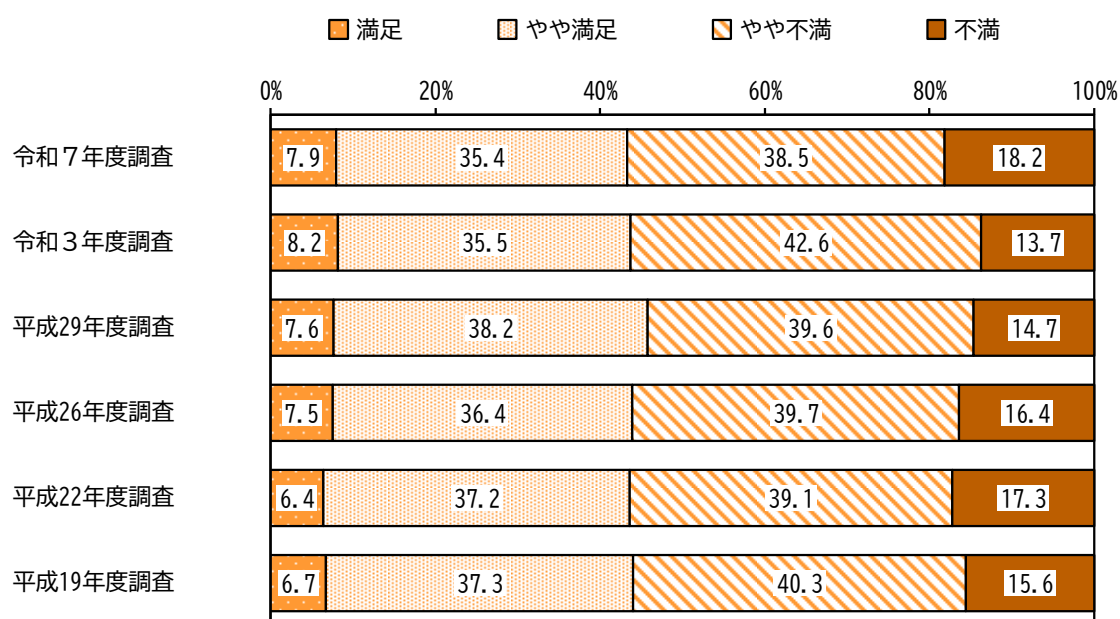
3. 第3次産業（サービス業）の振興

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



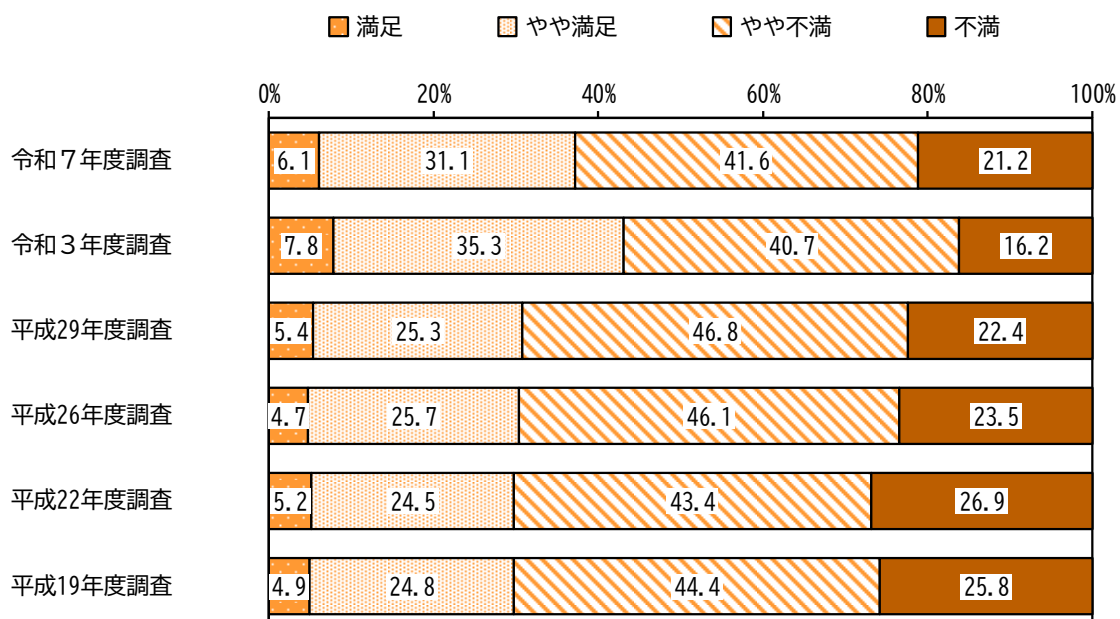
4. にぎわいの創出と交流人口対策

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



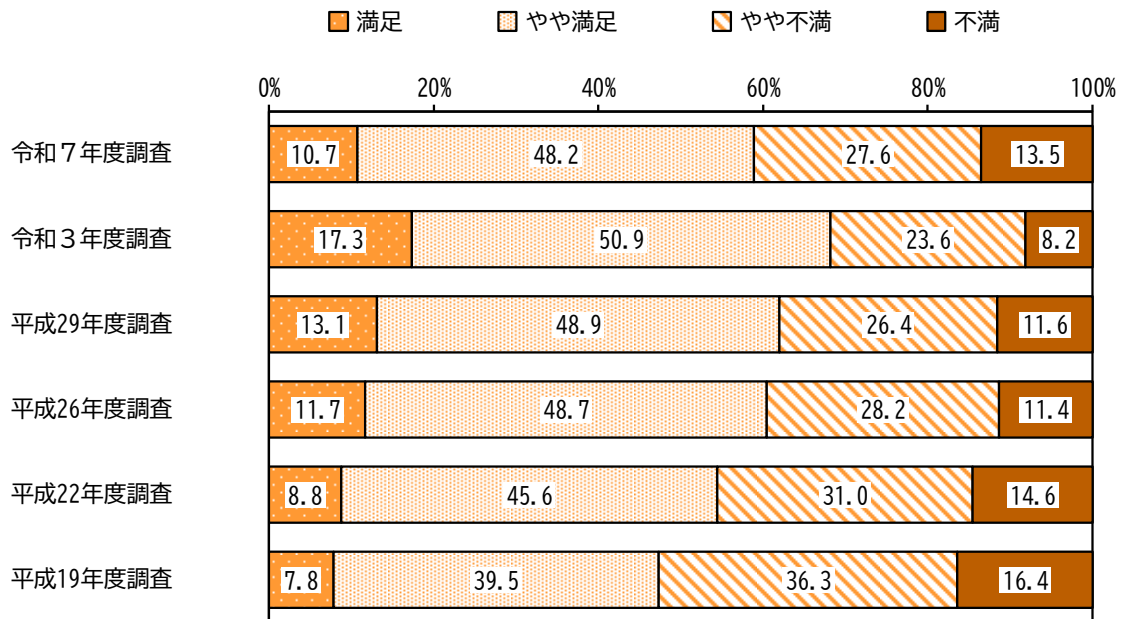
5. 便利な市街地・中心街の整備

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



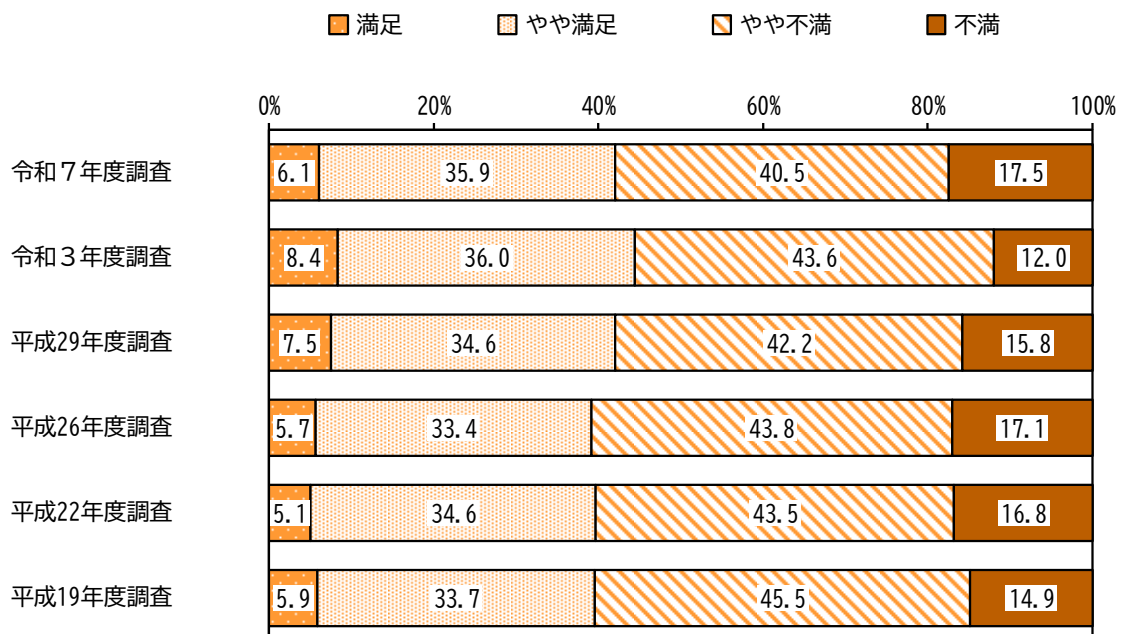
6. 円滑な道路網の整備

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



7. 市の宣伝・情報提供の充実

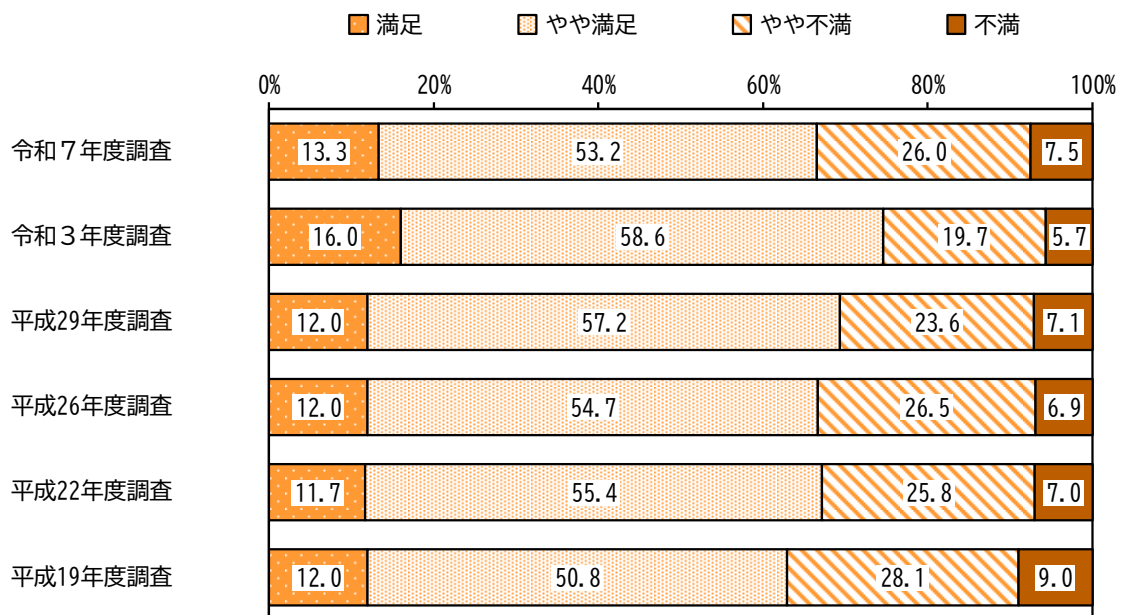
過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」の割合が減少しています。



F 総合的分野

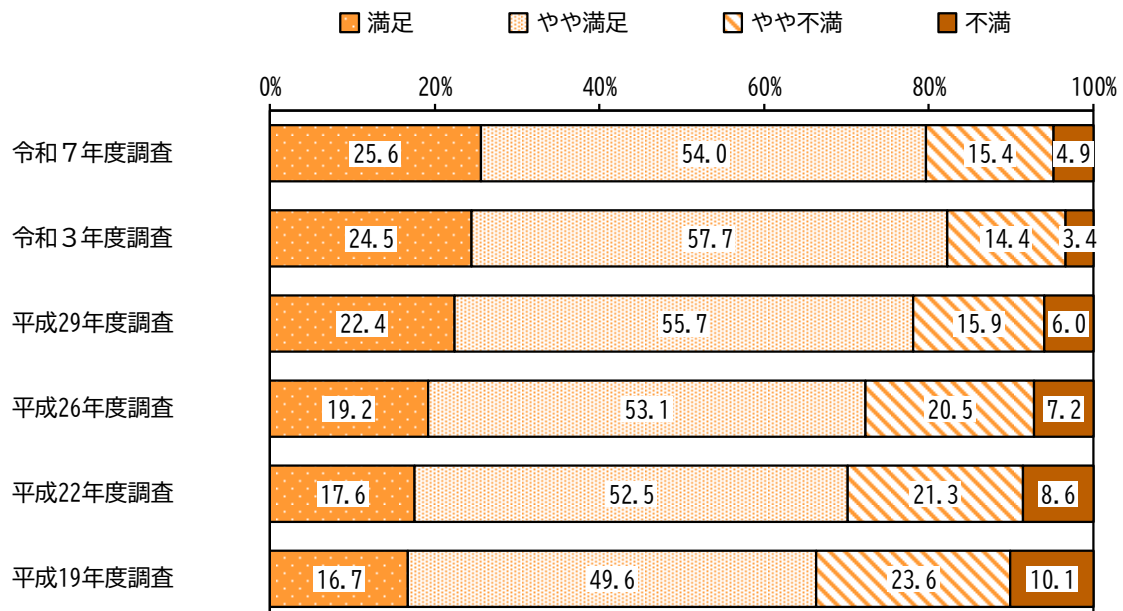
1. 市の広報・広聴の充実

過去調査と比較すると、令和3年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が減少しています。



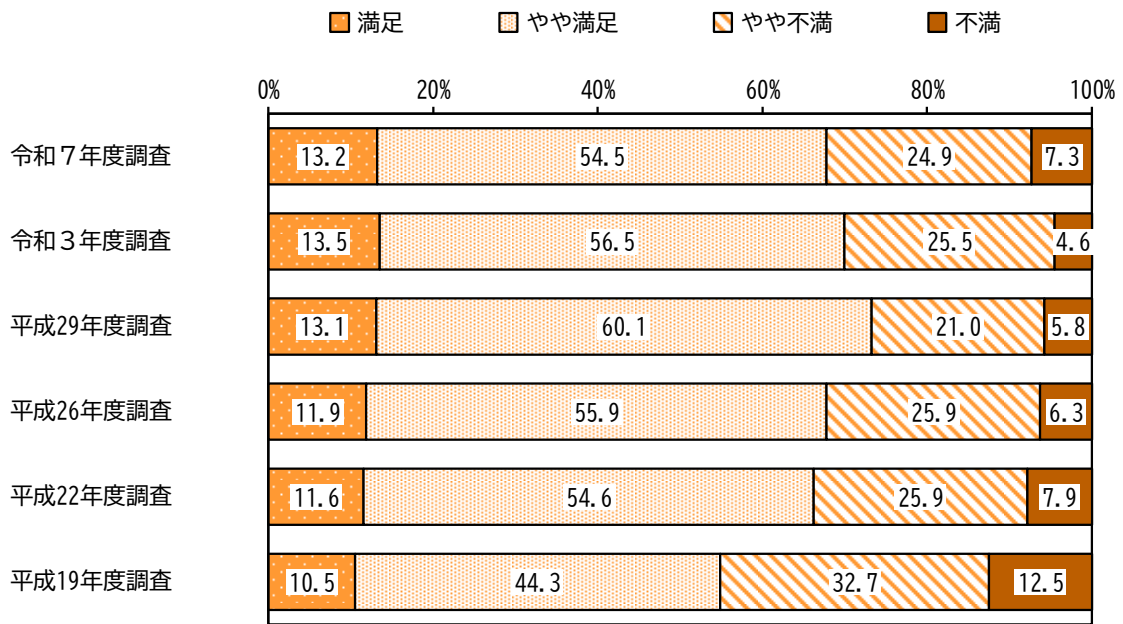
2. 窓口サービスの対応（各種届出や証明書発行業務の迅速さ、対応の丁寧さなど）

過去調査と比較すると、平成19年度調査から「満足」の割合が増加しています。



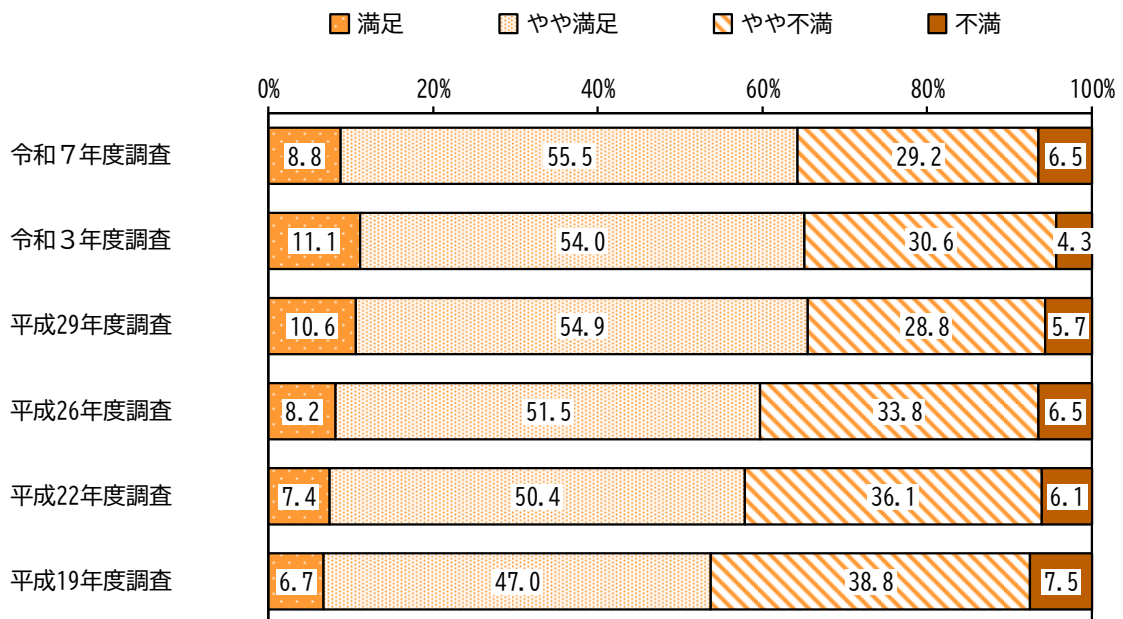
3. 地域情報化への取り組み

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



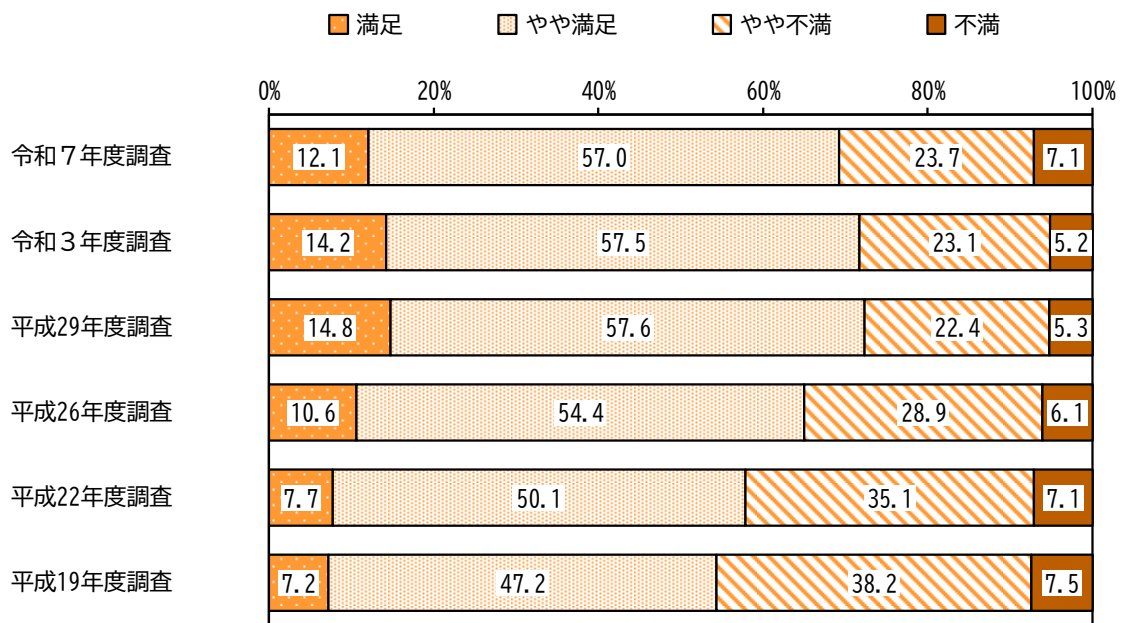
4. 市民自治の活性化

過去調査と比較すると、平成19年度調査から「やや満足」の割合が増加傾向にあります。



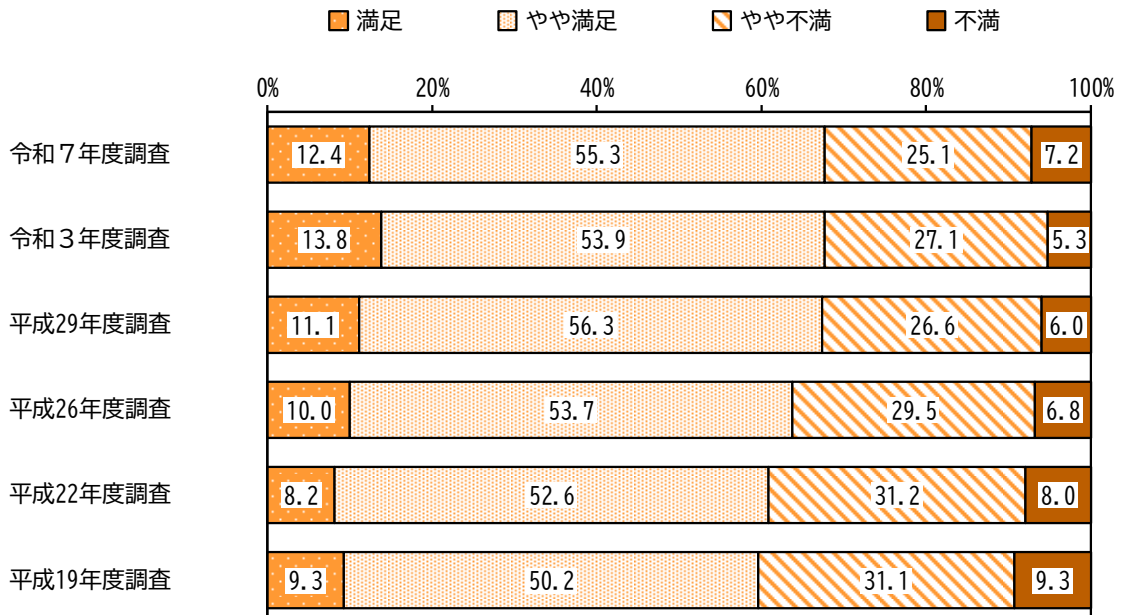
5. 市民参加への取り組み

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



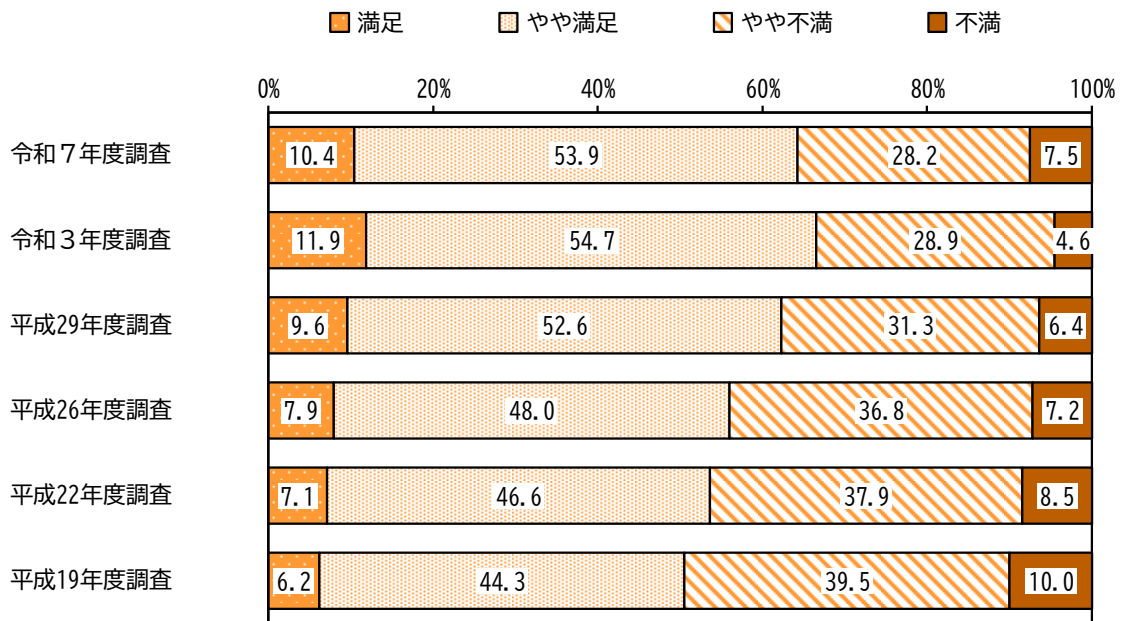
6. 国際交流への取り組み

過去調査と比較すると、平成19年度調査から「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が増加しています。



7. 広域連携への取り組み

過去調査と比較すると、平成 19 年度調査から「やや満足」の割合が増加しています。

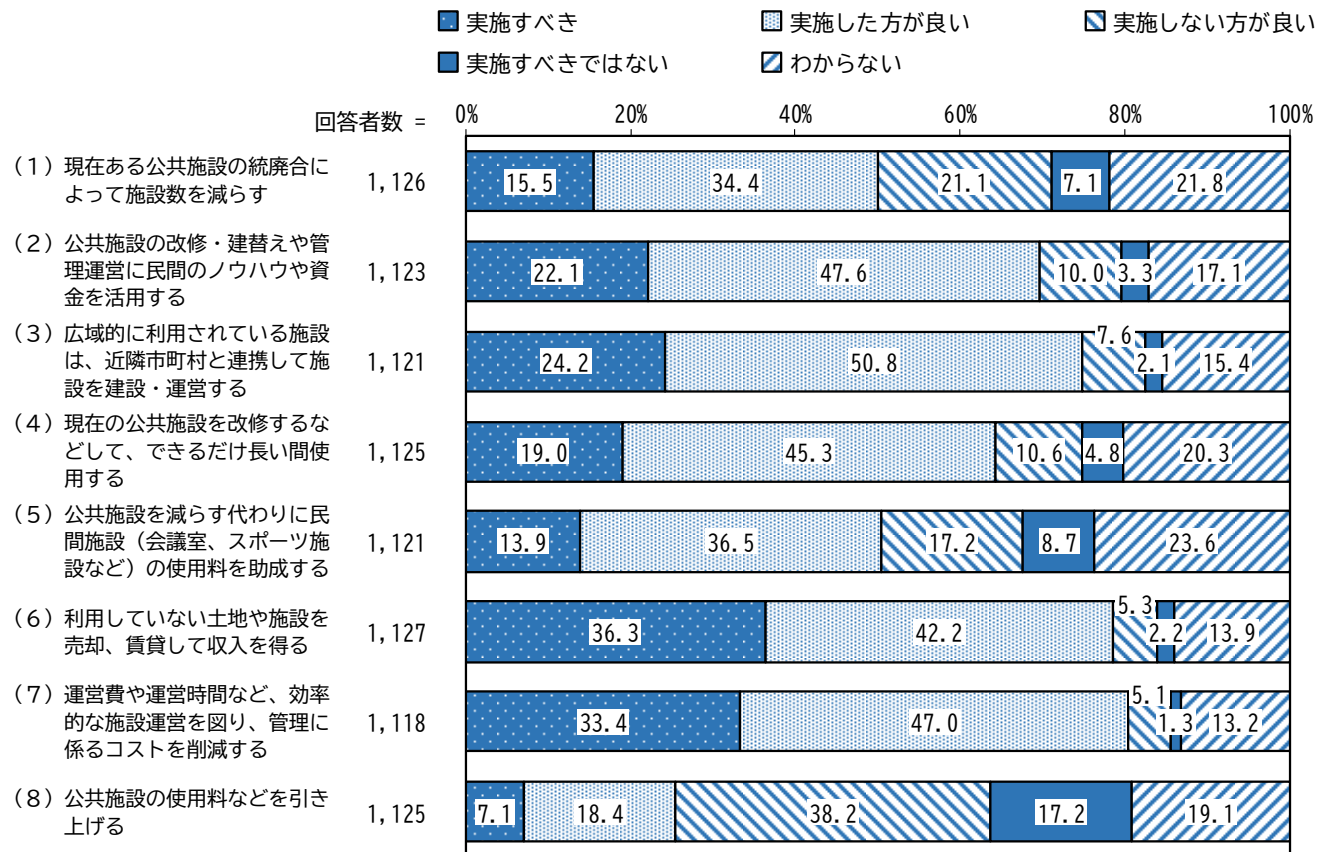


※「8. 行財政運営（市の歳入確保、市民に分かりやすい行政評価、市役所による市民意見の把握など）」、「9. 公共施設の適正配置（公共施設の数、配置など）」は、令和 7 年度調査からの新規設問のため、平成 19 年度からの満足度の変化についてのグラフはありません。

4 市政運営に関することについて

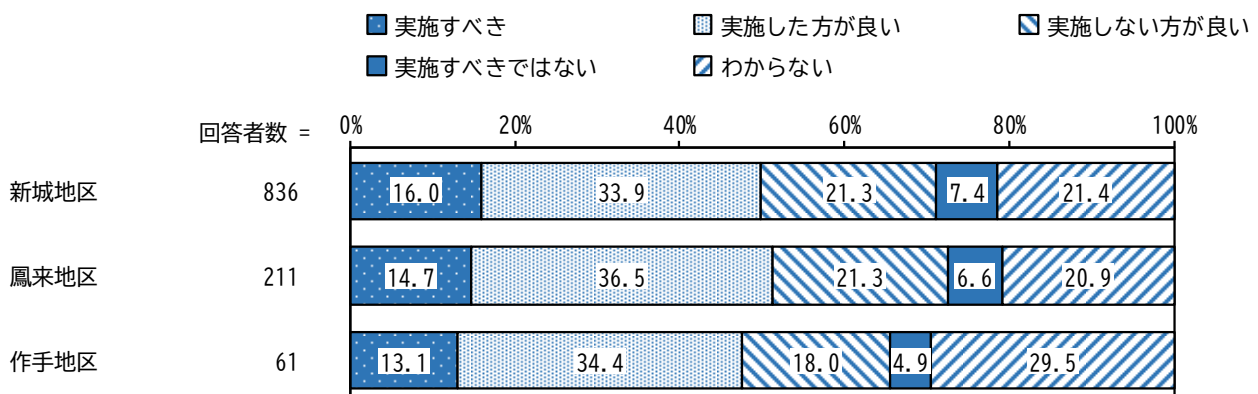
問9 公共施設の老朽化が進み、維持管理・更新等に係る財政負担の増大が課題となる中、公共施設のあり方についてどのようにお考えですか。以下の（１）～（８）の質問について、それぞれに該当する番号を１つ選んで○印をつけてください。

『（７）運営費や運営時間など、効率的な施設運営を図り、管理に係るコストを削減する』で「実施すべき」と「実施した方が良い」を合わせた“実施すべき”が高くなっています。一方、『（８）公共施設の使用料などを引き上げる』で「実施しない方が良い」と「実施すべきではない」を合わせた“実施すべきではない”が高くなっています。

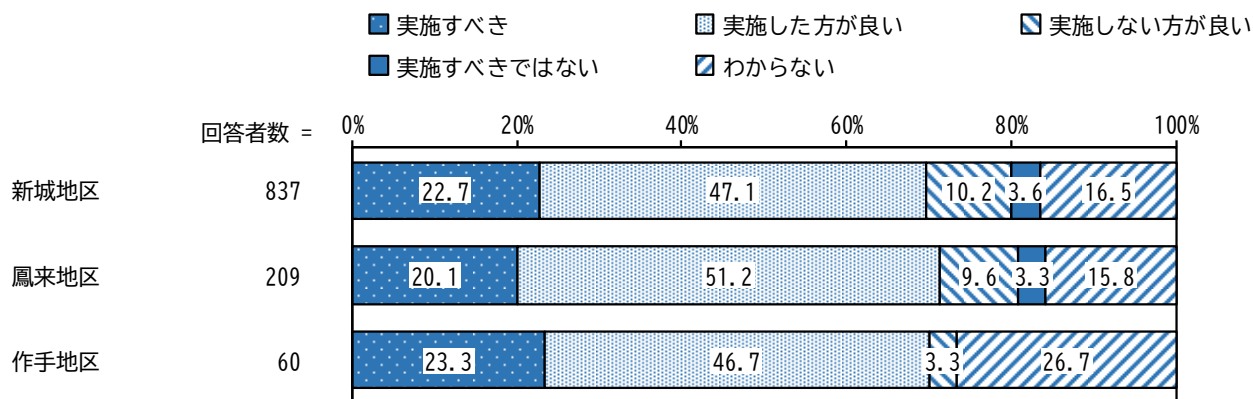


【地区別】

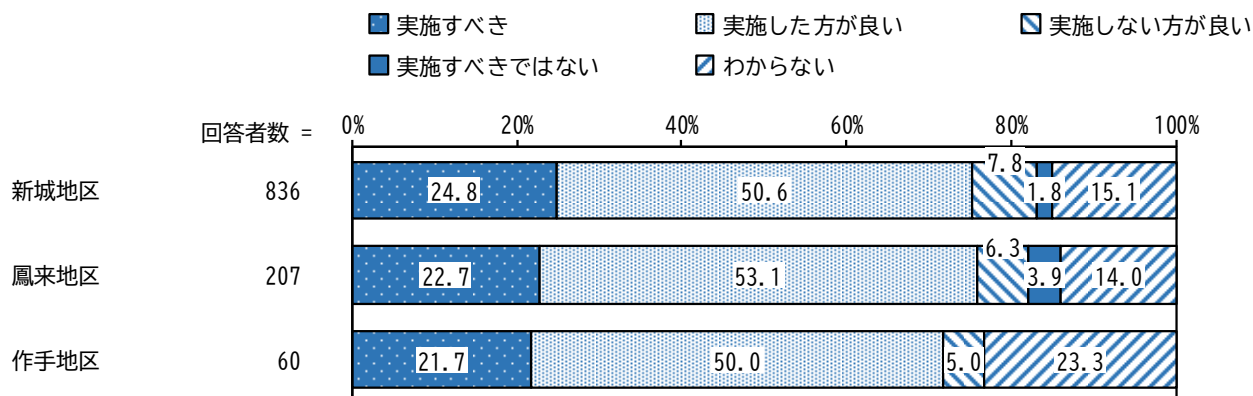
（１）現在ある公共施設の統廃合によって施設数を減らす



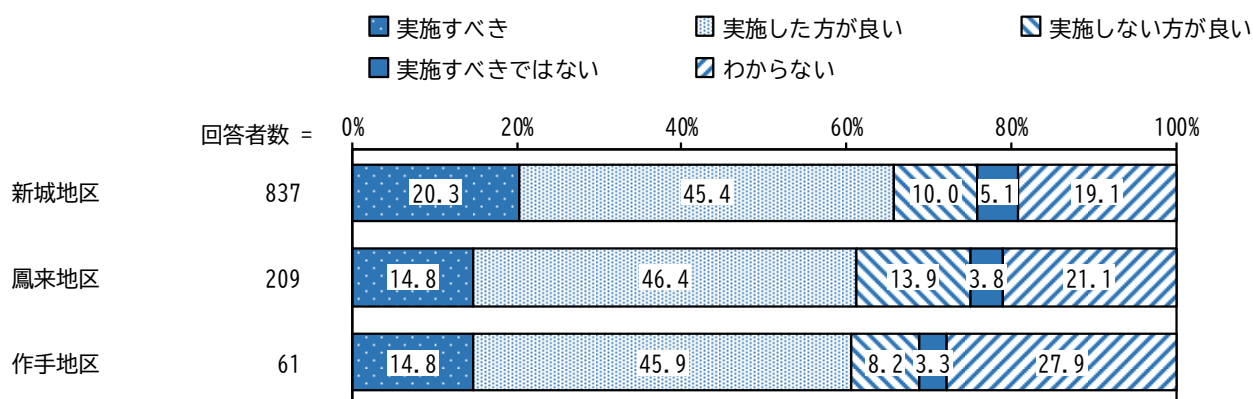
(2) 公共施設の改修・建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する



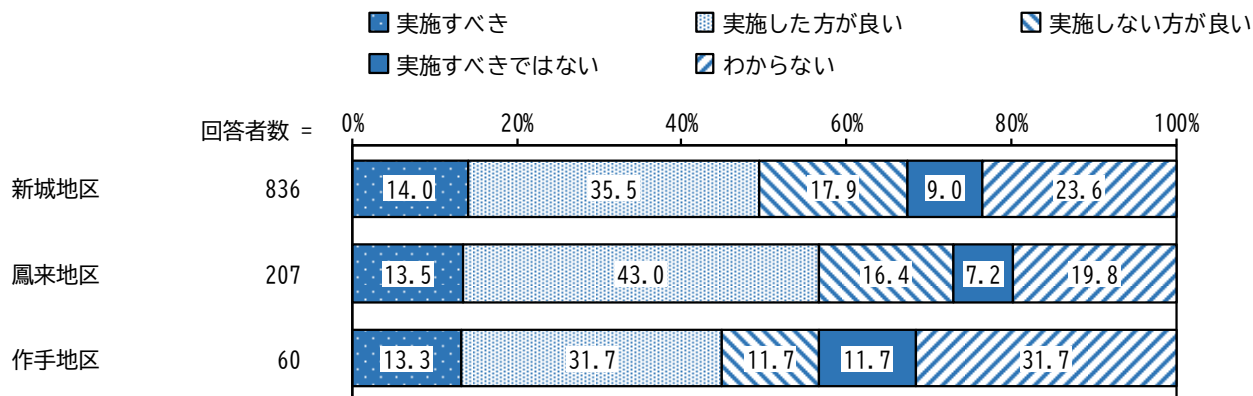
(3) 広域的に利用されている施設は、近隣市町村と連携して施設を建設・運営する



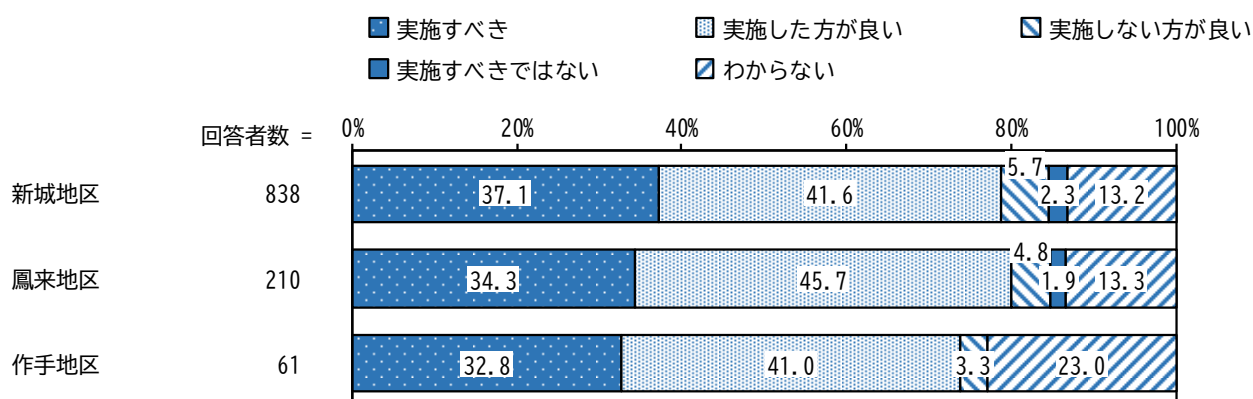
(4) 現在の公共施設を改修するなどして、できるだけ長い間使用する



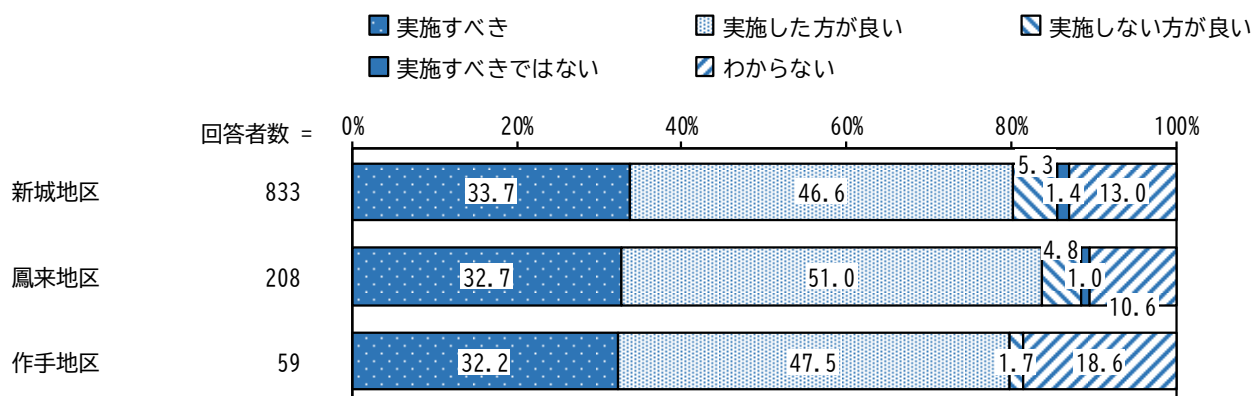
(5) 公共施設を減らす代わりに民間施設（会議室、スポーツ施設など）の使用料を助成する



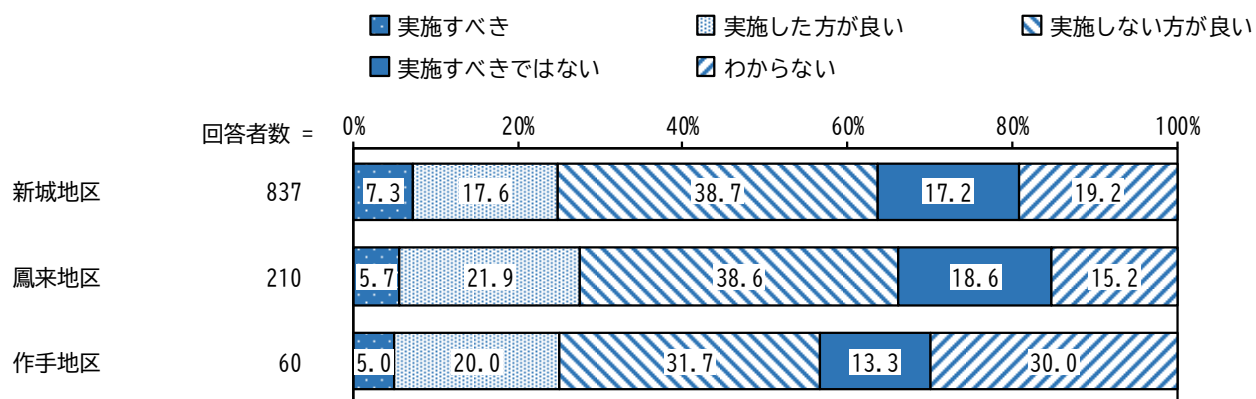
(6) 利用していない土地や施設を売却、賃貸して収入を得る



(7) 運営費や運営時間など、効率的な施設運営を図り、管理に係るコストを削減する

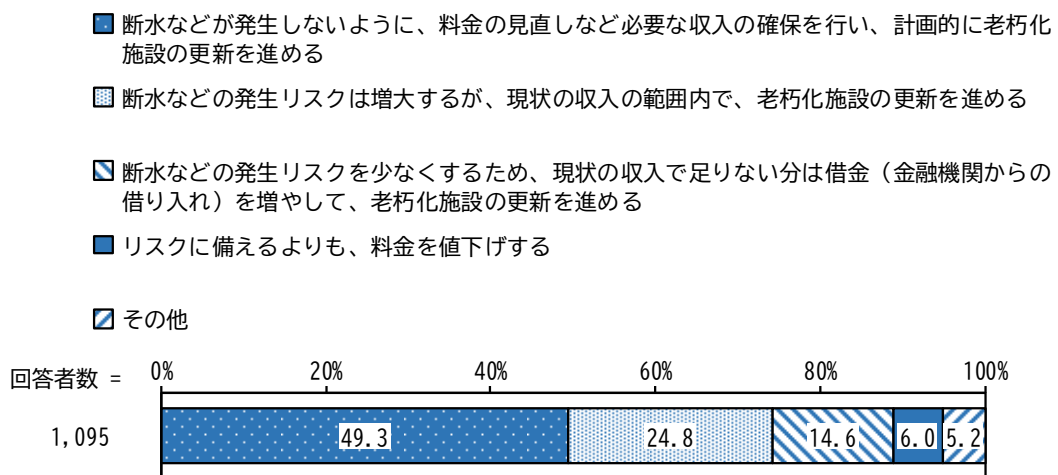


(8) 公共施設の使用料などを引き上げる



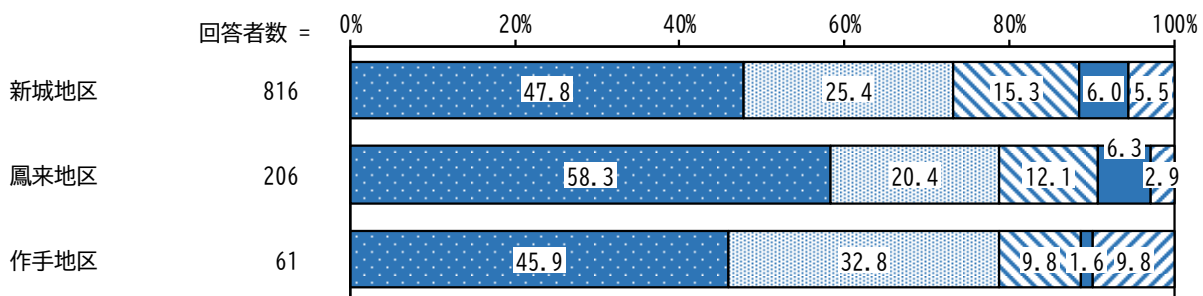
問10 水道について、漏水や断水が発生しないよう安定的に給水するためには、今後ますます増える老朽化した水道施設の更新が必要ですが、工事には多額の費用が必要となります。その費用は、水道を使う皆さんからの水道料金で、まかなわなければなりません。老朽化施設の更新について、どのように思いますか。1つだけ○印をつけてください。

「断水などが発生しないように、料金の見直しなど必要な収入の確保を行い、計画的に老朽化施設の更新を進める」の割合が49.3%と最も高く、次いで「断水などの発生リスクは増大するが、現状の収入の範囲内で、老朽化施設の更新を進める」の割合が24.8%、「断水などの発生リスクを少なくするため、現状の収入で足りない分は借金（金融機関からの借り入れ）を増やして、老朽化施設の更新を進める」の割合が14.6%となっています。



【地区別】

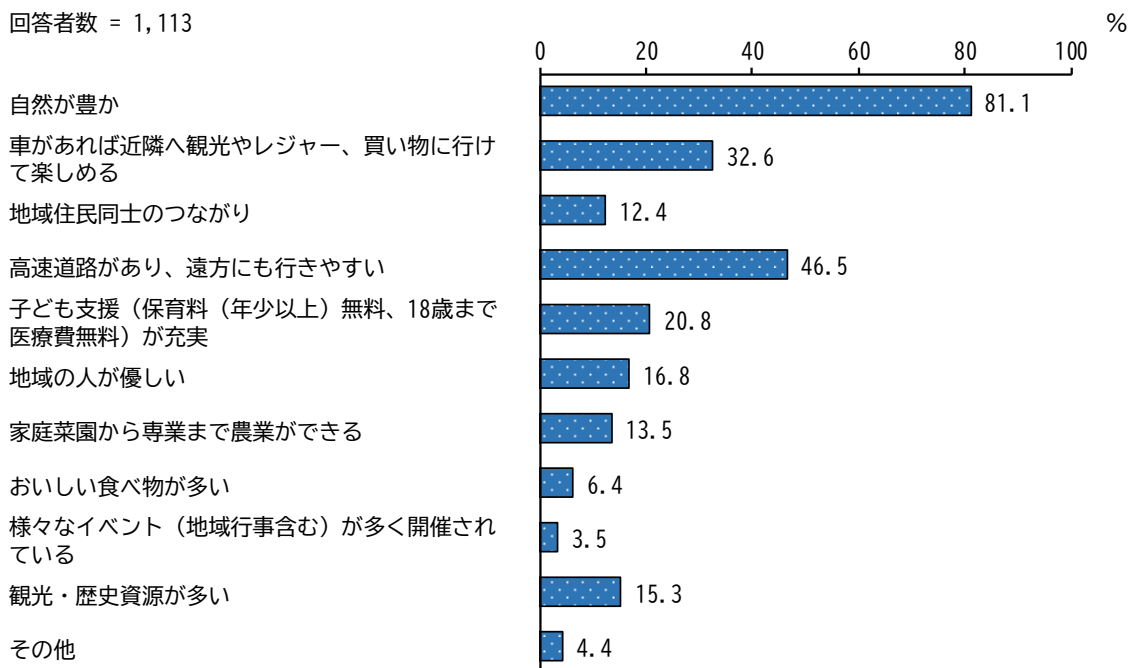
- ☒ 断水などが発生しないように、料金の見直しなど必要な収入の確保を行い、計画的に老朽化施設の更新を進める
☒ 断水などの発生リスクは増大するが、現状の収入の範囲内で、老朽化施設の更新を進める
☒ 断水などの発生リスクを少なくするため、現状の収入で足りない分は借金（金融機関からの借り入れ）を増やして、老朽化施設の更新を進める
☒ リスクに備えるよりも、料金を値下げする
☒ その他



問 11 あなたにとって本市の魅力とは何ですか。3つまで○印をつけてください。

「自然が豊か」の割合が 81.1%と最も高く、次いで「高速道路があり、遠方にも行きやすい」の割合が 46.5%、「車があれば近隣へ観光やレジャー、買い物に行けて楽しめる」の割合が 32.6%となっています。

回答者数 = 1,113



【地区別】

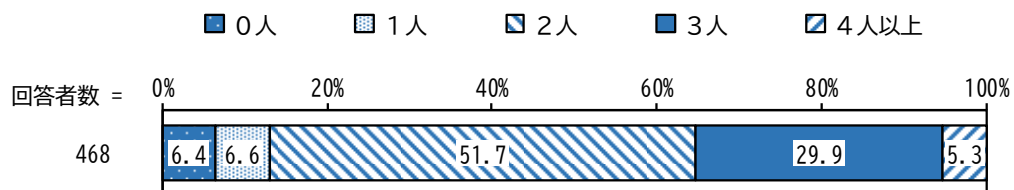
単位：%

区分	回答者数（件）	自然が豊か	車があれば近隣へ観光やレジャー、買い物に行けて楽しめる	地域住民同士のつながり	高速道路があり、遠方にも行きやすい	子ども支援（保育料（年少以上）無料、18歳まで医療費無料）が充実	地域の人が優しい	家庭菜園から専業まで農業ができる	おいしい食べ物が多い	様々なイベント（地域行事含む）が多く開催されている	観光・歴史資源が多い	その他
全 体	1,113	81.1	32.6	12.4	46.5	20.8	16.8	13.5	6.4	3.5	15.3	4.4
新城地区	831	81.1	34.1	11.3	45.8	20.7	16.5	12.8	6.5	4.0	15.4	4.6
鳳来地区	208	79.8	26.9	12.0	59.1	19.7	17.8	11.5	5.3	2.4	15.4	3.8
作手地区	62	82.3	32.3	29.0	14.5	25.8	19.4	29.0	8.1	1.6	12.9	4.8

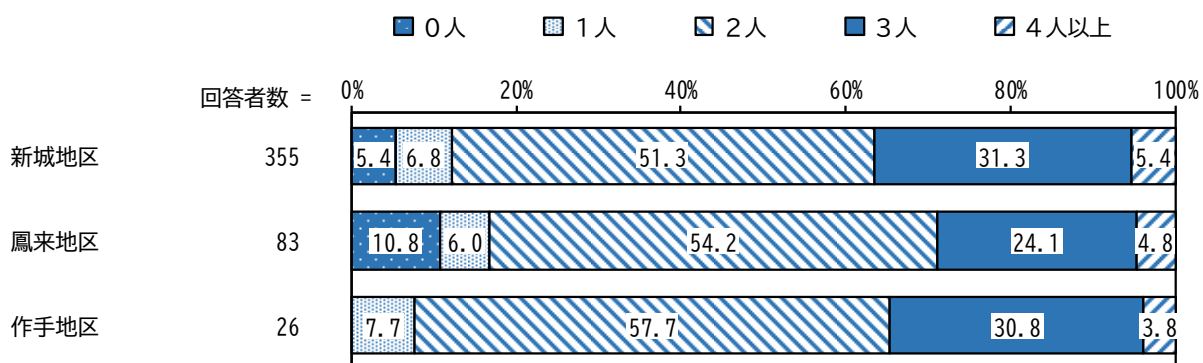
問12 ※18歳～49歳の方におたずねします

あなたにとって理想の子どもの人数は何人ですか？1つだけ○印をつけてください。

「2人」の割合が51.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が29.9%となっています。



【地区別】

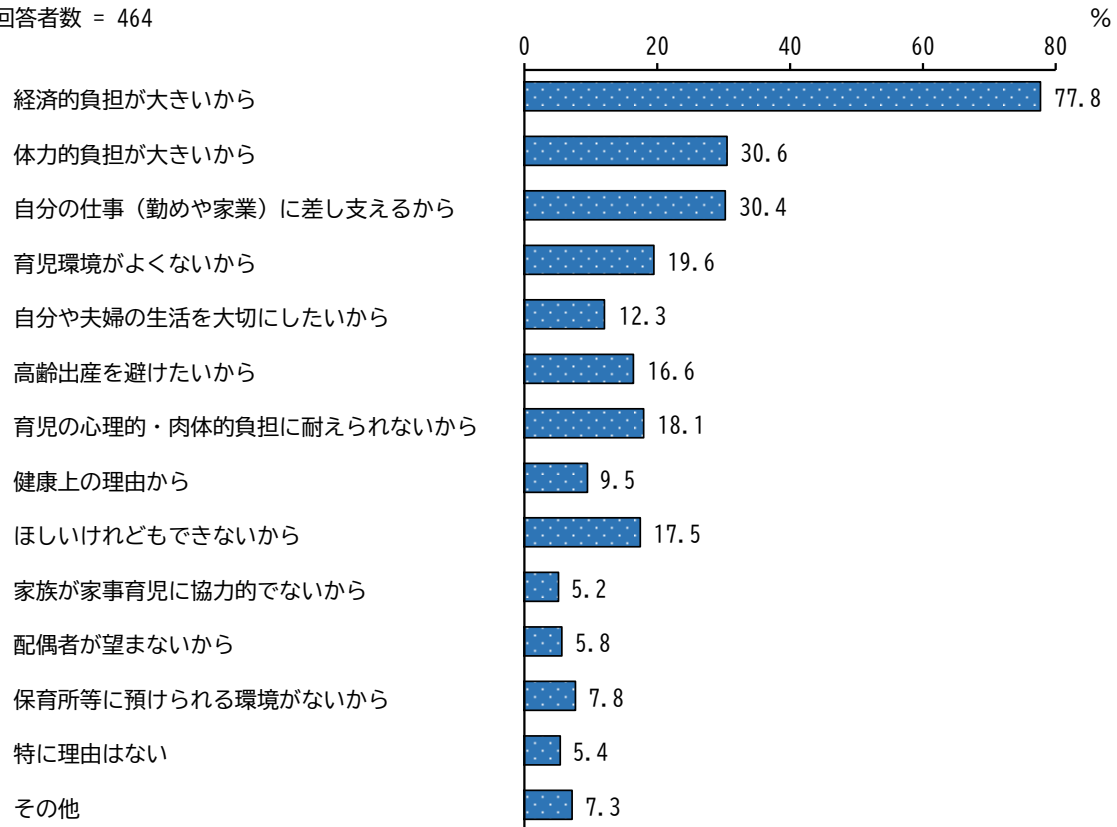


問13 ※18歳～49歳の方におたずねします

理想の子ども数を結果的に持てなかった場合、その原因として考えられるものは何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

「経済的負担が大きいから」の割合が77.8%と最も高く、次いで「体力的負担が大きいから」の割合が30.6%、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」の割合が30.4%となっています。

回答者数 = 464



【地区別】

単位：%

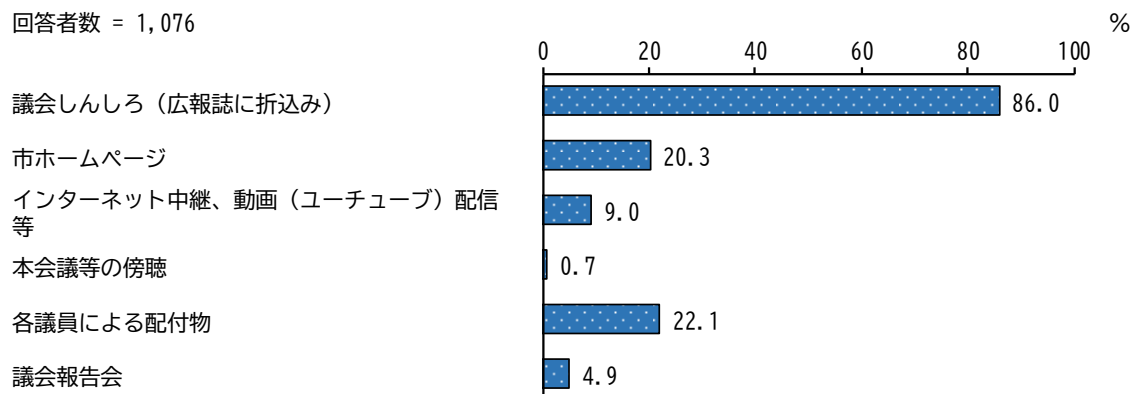
区分	回答者数 (件)	経済的負担が 大きいから	体力的負担が 大きいから	自分の仕事（勤め や家業）に差し 支えるから	育児環境がよ くないから	自分や夫婦の生 活を大切にした いから	高齢出産を避け たいから	育児の心理的・肉 体的負担に耐え られないから
全 体	464	77.8	30.6	30.4	19.6	12.3	16.6	18.1
新城地区	354	79.9	31.1	31.1	19.2	11.3	16.1	17.5
鳳来地区	81	71.6	29.6	27.2	22.2	14.8	16.0	18.5
作手地区	26	69.2	23.1	26.9	15.4	15.4	19.2	19.2

区分	健康上 の理由か	ほしいけれども できないから	家族が家事育 児に協力的で ないから	配偶者が望ま ないから	保育所等に預 けられる環境 がないから	特に理由はない	その他
全 体	9.5	17.5	5.2	5.8	7.8	5.4	7.3
新城地区	9.6	17.8	4.8	4.8	8.5	4.5	7.1
鳳来地区	7.4	12.3	6.2	11.1	6.2	6.2	9.9
作手地区	7.7	26.9	3.8	0.0	0.0	15.4	0.0

問 14 市議会に関する情報をどうやって入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「議会しんしろ（広報誌に折込み）」の割合が 86.0%と最も高く、次いで「各議員による配付物」の割合が 22.1%、「市ホームページ」の割合が 20.3%となっています。

回答者数 = 1,076



【地区別】

単位：%

区分	回答者数（件）	議会しんしろ（広報誌に折込み）	市ホームページ	インターネット中継、動画（ユーチューブ）配信等	本会議等の傍聴	各議員による配付物	議会報告会
全 体	1,076	86.0	20.3	9.0	0.7	22.1	4.9
新城地区	804	85.3	20.0	9.0	0.9	21.4	5.0
鳳来地区	204	87.3	22.1	9.3	0.0	25.0	4.4
作手地区	57	93.0	17.5	5.3	1.8	24.6	5.3

問 15 物価高騰の現状に対応するための支援としてどのような取組があるとよいでしょうか。ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

514 人から意見が寄せられました。

カテゴリ名	件数
プレミアム商品券等の支援（商品券、新城さくら p a y 等を含む）	127
減税・税負担軽減	76
子育て・給食費支援	60
農業支援・地産地消（お米券・農産物支援も含む）	56
光熱費補助（電気、水道、ガス等）	53
現金給付・給付金	39
高齢者支援（年金生活者、介護等）	30
補助制度の周知・手続き簡素化	22
交通・移動支援（ガソリン補助、車関連支援等）	21
経済・商業支援（市内店舗支援、地域活性化等）	21
賃上げ・雇用支援	21
クーポン・割引券支援	16
教育・学費支援	10
新城さくら p a y などキャッシュレス決済支援	9
インフラ支援・観光促進	7
省エネ家電補助	6
その他行政・社会支援等（社会保障、家電・家具補助、行政改革等）	5
その他	35

※複数のカテゴリに係る意見はそれぞれでカウントしているため、意見の数とカテゴリ件数の合計は一致しません。

※特になし、わからないを除きます。

問 16 まちづくりについてのご意見やアイデア、総合計画や市政運営、市役所職員などに対するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

549 人から意見が寄せられました。

カテゴリ名	件数
A. 福祉・健康分野	
1. 子育てを応援するためのサービス	35
2. 高齢者の自立支援や福祉対策	13
3. 障がいのある方の支援や福祉対策	1
4. 健康づくり支援の充実	意見なし
5. 地域医療等の充実	24
6. 社会保障制度の充実	意見なし
B. 教育・文化・生涯学習分野	
1. 児童・生徒の教育環境対策	4
2. 学校教育施設の整備	2
3. 文化、芸能等の振興、保存	5
4. 文化施設の整備充実	1
5. 歴史遺産、文化財の保護・活用	8
6. 共育推進	1
7. スポーツに親しむ環境づくり	7
8. 青少年の健全育成	2
C. 生活・環境分野	
1. 暮らす場の整備	13
2. 快適な生活道路の整備	8
3. 憩い空間の充実	19
4. 通学や生活の足としての公共交通機関等の充実	15
5. 安全な水の供給	6
6. 衛生的な下水・雨水の処理	1
7. ごみ処理への取り組み	12
8. 環境対策への取り組み	8
D. 安全・安心対策分野	
1. 交通安全対策の推進	8
2. 防犯対策への取り組み	3
3. 大地震対策への取り組み	2
4. 地域の防災組織の充実	3
5. 消防・救急体制の充実	4

カテゴリ名	件数
E. 産業・経済・都市基盤分野	
1. 第1次産業の振興	16
2. 第2次産業の振興	1
3. 第3次産業（サービス業）の振興	26
4. にぎわいの創出と交流人口対策	83
5. 便利な市街地・中心街の整備	5
6. 円滑な道路網の整備	11
7. 市の宣伝・情報提供の充実	12
F. 総合的分野	
1. 市の広報・広聴の充実	4
2. 窓口サービスの対応	27
3. 地域情報化への取り組み	4
4. 市民自治の活性化	9
5. 市民参加への取り組み	11
6. 国際交流への取り組み	意見なし
7. 広域連携への取り組み	意見なし
8. 行財政運営	112
9. 公共施設の適正配置	7

※複数のカテゴリに係る意見はそれぞれでカウントしているため、意見の数とカテゴリ件数の合計は一致しません。

※特になし、わからないを除きます。

Ⅲ 調査票

令和7年度 新城市市民満足度調査 ご協力のおねがい

調査の概要とご回答にあたっての注意点

- ◆ この調査は新城市に住民票がある18歳以上の方の中から、無作為に抽出した4,000人の方を対象に、郵送またはインターネットによりアンケート調査を行うものです。
- ◆ この調査は第2次新城市総合計画【後期基本計画（令和9年度から令和12年度）】の策定に向けて、公共サービスに対する満足度や今後の市政運営に役立てる施策についてご意見をお聞きしたく実施するものです。
- ◆ ご回答は無記名でお願いするとともに、ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、あなた個人のお名前やご意見が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容は、調査の目的以外には使用しません。
- ◆ ご回答は、お送りした封筒の宛名のご本人がお答えください。
ご本人の記入が困難な場合はご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- ◆ ご回答は、それぞれの問で、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
「その他」に○印をつけられた場合には、具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
- ◆ 郵送にて回答される場合はご記入後、この調査票を同封の返信用封筒に入れて、令和7年8月22日（金）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。
- ◆ インターネットにて回答される方は下記の二次元コードよりアクセスしてください。

◇インターネット回答は、株式会社トラストバンクが提供する電子申請システム「LoGoフォーム」により回答いただきます。パソコンまたはスマートフォンからご回答ください。
※ガラケー（フィーチャー・フォン）には対応しておりませんのでご注意ください。

インターネット回答ページへのアクセス方法

右記の二次元コードをスマートフォンなどから読み取り、回答ページにアクセスすると回答いただけます。
URLを入力して回答される場合は、ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に、下記のアドレスを入力してアクセスください。

URL

二次元コード



調査票番号

令和7年8月

新城市長 下江 洋行

本調査についてご不明な点などございましたら、下記へお問い合わせください。

お問合せ先：新城市役所 企画部 企画調整課

電話 0536-23-7620（直通）

「令和7年度新城市市民満足度調査」アンケート調査票

1. あなたご自身のことについておたずねします。

設問ごとに、あてはまる番号に○印をつけてください。

問1. あなたの性別をご記入ください。

1. 男性 2. 女性 3. 回答しない

問2. あなたの年齢をご記入ください。

1. 18・19 歳 2. 20～29 歳 3. 30～39 歳 4. 40～49 歳
5. 50～59 歳 6. 60～69 歳 7. 70 歳以上

問3. あなたの家族構成をご記入ください。

1. 単身世帯 2. 夫婦世帯 3. 二世帯世帯（親と子の世帯）
4. 三世帯世帯（親と子と孫の世帯） 5. その他（ ）

問4. あなたの世帯の18歳以下の子どもをご記入ください。

（あてはまる番号すべてに○印をつけてください。）

1. 乳幼児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生
5. その他の18歳以下の子ども 6. いない

問5. あなたの職業をご記入ください。

1. 農林業自営業者 2. 商工業自営業者 3. 会社員・団体職員 4. 公務員・教員
5. 家事専業 6. パート・アルバイト 7. 高校生・学生 8. 無職
9. その他（ ）

問6. あなたがお住まいの小学校区をご記入ください。

1. 新城小学校区 2. 千郷小学校区 3. 東郷西小学校区
4. 東郷東小学校区 5. 舟着小学校区 6. 八名小学校区
7. 庭野小学校区 8. 鳳来中部小学校区 9. 鳳来寺小学校区
10. 黄柳川小学校区 11. 東陽小学校区 12. 鳳来東小学校区
13. 作手小学校区

問7. あなたは、新城市にお住まいになって何年になりますか。

旧市町村（新城市、鳳来町、作手村）を含めた通算年数でお答えください。

1. 1 年未満 2. 1～4 年 3. 5～9 年 4. 10～19 年
5. 20～29 年 6. 30 年以上

2. 公共サービスに対する満足度についておたずねします。

問8. 新城市内の公共サービスについて、あなたはどの程度満足していますか。

それぞれ該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。 【公共サービス】 市の行政サービスだけに限らず、国や県、民間事業等も含めた 公共性のあるサービスとお考えください。	満 足 度			
	満 足	やや 満 足	やや 不 満	不 満
【記入例】 窓口サービスの対応（各種届出や証明書発行業務の迅速さ、対応の丁寧さ など）	①	2	3	4
A 福祉・健康分野				
1. 子育てを応援するためのサービス （こども園の取り組み、放課後児童クラブの充実、乳幼児健診、育児教室 など）	1	2	3	4
2. 高齢者の自立支援や福祉対策 （高齢者への総合的な生活支援の相談窓口の体制、学習や趣味・友人との交流・ボランティア活動、福祉センター等の運営、介護予防教室 など）	1	2	3	4
3. 障がいのある方の支援や福祉対策（生活支援、生活用具給付・貸与 など）	1	2	3	4
4. 健康づくり支援の充実 （健康診断・健康相談の実施、保健センター等の整備、保健師による健康指導 など）	1	2	3	4
5. 地域医療等の充実 （しんしろ助産所、病院や診療所の整備、休日・夜間診療所等の拡充、救急医療等の充実 など）	1	2	3	4
6. 社会保障制度の充実（国民年金、国民健康保険、介護保険 など）	1	2	3	4
B 教育・文化・生涯学習分野				
1. 児童・生徒の教育環境対策 （地域と学校の連携、小学校の再配置（小学校統合）、就学援助、電車・バス通学支援、不登校児童・生徒に対する教育環境整備 など）	1	2	3	4
2. 学校教育施設の整備（校舎の安全対策、プール・体育館・各種教室の整備 など）	1	2	3	4
3. 文化、芸能等の振興、保存（文化活動や伝統芸能活動への支援、鑑賞機会の提供 など）	1	2	3	4
4. 文化施設の整備充実（ホール、図書館、美術館、博物館の整備 など）	1	2	3	4
5. 歴史遺産、文化財の保護・活用（遺跡・史跡の整備、文化財の保護管理 など）	1	2	3	4
6. 共育推進（文化・教養講座、公民館活動・生きがい活動等への支援 など）	1	2	3	4
7. スポーツに親しむ環境づくり （体育館等のスポーツ施設の整備や管理、スポーツ教室や各種大会の開催、団体・指導員の養成、スポーツを通じた観光や交流などを合わせた旅行スタイルの推進 など）	1	2	3	4
8. 青少年の健全育成（ボランティア指導員の育成、地域活動への参加、青少年交流 など）	1	2	3	4
C 生活・環境分野				
1. 暮らす場の整備（住宅地の整備、公営住宅の整備 など）	1	2	3	4
2. 快適な生活道路の整備（市道の整備・管理 など）	1	2	3	4
3. 憩い空間の充実（身近な公園の整備・管理、水辺環境の整備 など）	1	2	3	4
4. 通学や生活の足としての公共交通機関等の充実（電車、バス、タクシーの充実 など）	1	2	3	4
5. 安全な水の供給（水道水の味・におい・色、水道水の水量・水圧、水質検査等の情報提供など）	1	2	3	4
6. 衛生的な下水・雨水の処理（公共下水道・農業集落排水施設の普及、合併処理浄化槽設置補助、し尿処理など）	1	2	3	4
7. ごみ処理への取り組み （ごみ処理施設の整備、分別・リサイクル活動への取り組み、収集回数や自己搬入の扱い など）	1	2	3	4
8. 環境対策への取り組み （豊かな自然の保全、水質浄化や大気汚染・公害対策等への取り組み、環境学習や環境活動等の推進、省エネルギー・再生可能エネルギーへの取り組み など）	1	2	3	4

<p>それぞれ該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。</p> <p>【公共サービス】</p> <p>市の行政サービスだけに限らず、国や県、民間事業等も含めた公共性のあるサービスとお考えください。</p>	満 足 度			
	満 足	やや 満 足	やや 不 満	不 満
D 安全・安心対策分野				
1. 交通安全対策の推進 (路肩のカラー舗装、カーブミラー等の設置、屋外設置物の指導、交通安全啓発運動への取り組み など)	1	2	3	4
2. 防犯対策への取り組み (防犯灯の設置、こども110番の家の充実、警察や駐在所との連携、防犯啓発等の情報提供 など)	1	2	3	4
3. 大地震対策への取り組み (住宅の耐震対策支援、市役所庁舎や小中学校等公共施設の耐震対策、避難所の指定や避難誘導標識等の設置、地震対策講習や啓発活動、防災情報の提供、被災地への支援など)	1	2	3	4
4. 地域の防災組織の充実 (自主防災活動や防災訓練等への指導、消防団や自警団組織の維持対策 など)	1	2	3	4
5. 消防・救急体制の充実 (防火水槽・水利の管理・整備、火災予防対策・防火思想普及啓発、救命講習の開催、災害発生時の対応 など)	1	2	3	4
E 産業・経済・都市基盤分野				
1. 第1次産業（農林水産業）の振興 (ほ場整備や農道整備事業の推進、新規就農者や農業経営者への支援、特産品の振興と販売促進対策、林道整備、木材流通支援、就業受け入れ支援、地産地消、森林総合センターの開設 など)	1	2	3	4
2. 第2次産業（鉱業、建設業、製造業）の振興 (企業誘致対策、小規模企業振興資金融資などの支援制度 など)	1	2	3	4
3. 第3次産業（サービス業）の振興（商店街基盤整備・振興、小規模事業者等への支援制度 など）	1	2	3	4
4. にぎわいの創出と交流人口対策 (観光地の整備、まちおこし・観光イベント・特産品祭り等の開催・支援 など)	1	2	3	4
5. 便利な市街地・中心街の整備（市街地・中心街の整備、区画整理事業の推進、駅周辺整備 など）	1	2	3	4
6. 円滑な道路網の整備 (国道151号〔八束穂地内〕の開通、幹線道路〔国道・県道〕の整備、三遠南信自動車道の推進 など)	1	2	3	4
7. 市の宣伝・情報提供の充実 (観光など地域の情報提供、公共施設の情報提供、企業誘致のための情報提供、関係人口や移住定住のための情報提供 など)	1	2	3	4
F 総合的分野				
1. 市の広報・広聴の充実 (行政情報の提供、広報紙の発行、ホームページの運用、市政番組の放送、市長への手紙、行政相談 など)	1	2	3	4
2. 窓口サービスの対応（各種届出や証明書発行業務の迅速さ、対応の丁寧さ など）	1	2	3	4
3. 地域情報化への取り組み (地域内ネットワークの推進、光ファイバやケーブルテレビの活用、情報セキュリティへの取り組み など)	1	2	3	4
4. 市民自治の活性化 (自治基本条例・地域自治区条例の制定、自治振興事務所の設置、コミュニティ・ボランティア・NPOへの支援、市民活動拠点の整備 など)	1	2	3	4
5. 市民参加への取り組み (若者議会、女性議会の開催、懇談会や住民意見交換会等の開催、まちづくりへの参加機会の拡大(例：市民まちづくり集会)、男女共同参画への取り組み など)	1	2	3	4
6. 国際交流への取り組み (市民や生徒の海外派遣、友好都市との交流、地域内外国人とのふれあい活動、国際交流協会等への支援 など)	1	2	3	4
7. 広域連携への取り組み（北設楽郡との連携、東三河市町村との連携 など）	1	2	3	4
8. 行財政運営（市の歳入確保、市民に分かりやすい行政評価、市役所による市民意見の把握など）	1	2	3	4
9. 公共施設の適正配置（公共施設の数、配置など）	1	2	3	4

3. これからの市政運営に関することについておたずねします。

新城市では、全国の地方自治体と同様に人口減少・少子高齢化が年々進んでいる状況です。皆さまの中にもお住まいの地域における地域活動の担い手不足や、高齢者・認知症の方の介護など、実際に様々な問題に直面されている方もいらっしゃると思います。

行政運営においては税収の減少、公共施設（学校・公民館・文化会館など）やインフラ（道路・水道など）の維持管理に係る財政負担の増大などの懸念があり、今後は限られた職員や財源で必要な行政サービスを維持する、人口縮減時代を見据えた行政運営を進めていく必要があります。

こうした状況を踏まえて、今後の施策の参考とさせていただきたく、以下の設問へのご回答をお願いいたします。

【問9】・【問10】

公共施設やインフラのあり方について、おたずねします。

問9.

公共施設の老朽化が進み、維持管理・更新等に係る財政負担の増大が課題となる中、公共施設のあり方についてどのようにお考えですか。

以下の(1)～(8)の質問について、それぞれに該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。

		実施すべき	実施した方が良い	実施しない方が良い	実施すべきではない	わからない
(1)	現在ある公共施設の統廃合によって施設数を減らす	1	2	3	4	5
(2)	公共施設の改修・建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	1	2	3	4	5
(3)	広域的に利用されている施設は、近隣市町村と連携して施設を建設・運営する	1	2	3	4	5
(4)	現在の公共施設を改修するなどして、できるだけ長い間使用する	1	2	3	4	5
(5)	公共施設を減らす代わりに民間施設（会議室、スポーツ施設など）の使用料を助成する	1	2	3	4	5
(6)	利用していない土地や施設を売却、賃貸して収入を得る	1	2	3	4	5
(7)	運営費や運営時間など、効率的な施設運営を図り、管理に係るコストを削減する	1	2	3	4	5
(8)	公共施設の使用料などを引き上げる	1	2	3	4	5

水道について、漏水や断水が発生しないよう安定的に給水するためには、今後ますます増える老朽化した水道施設の更新が必要ですが、工事には多額の費用が必要となります。その費用は、水道を使う皆さんからの水道料金で、まかなわなければなりません。

1. 断水などが発生しないように、料金の見直しなど必要な収入の確保を行い、計画的に老朽化施設の更新を進める
2. 断水などの発生リスクは増大するが、現状の収入の範囲内で、老朽化施設の更新を進める
3. 断水などの発生リスクを少なくするため、現状の収入で足りない分は借金（金融機関からの借り入れ）を増やして、老朽化施設の更新を進める
4. リスクに備えるよりも、料金を値下げする
5. その他（ ）

今後の本市の魅力発信の参考にさせていただくため、おたずねします。

1. 自然が豊かな
2. 車があれば近隣へ観光やレジャー、買い物に行けて楽しめる
3. 地域住民同士のつながり
4. 高速道路があり、遠方にも行きやすい
5. 子ども支援（保育料（年少以上）無料、18歳まで医療費無料）が充実
6. 地域の人が優しい
7. 家庭菜園から専業まで農業ができる
8. おいしい食べ物が多い
9. 様々なイベント（地域行事含む）が多く開催されている
10. 観光・歴史資源が多い（特に：)
11. その他（)



本市の将来の子育て支援策の検討資料とさせていただくため、おたずねします。

問12. ※18歳～49歳の方におたずねします

あなたにとって理想の子ども的人数は何人ですか？1つだけ○印をつけてください。

1. 0人 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人以上

問13. ※18歳～49歳の方におたずねします

理想の子ども数を結果的に持てなかった場合、その原因として考えられるものは何ですか。
あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 経済的負担が大きいから
2. 体力的負担が大きいから
3. 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
4. 育児環境がよくないから
5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6. 高齢出産を避けたいから
7. 育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから
8. 健康上の理由から
9. ほしいけれどもできないから
10. 家族が家事育児に協力的でないから
11. 配偶者が望まないから
12. 保育所等に預けられる環境がないから
13. 特に理由はない
14. その他（ ）

【問14】

今後の本市議会広報の参考とさせていただくため、おたずねします。

問14.

市議会に関する情報をどうやって入手していますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 議会しんしろ（広報誌に折込み）
2. 市ホームページ
3. インターネット中継、動画（ユーチューブ）配信等
4. 本会議等の傍聴
5. 各議員による配付物
6. 議会報告会

【問１５】

昨今のエネルギー・食料品価格等の物価高騰の状況を踏まえ、これまで本市では物価高騰の影響を受ける市民の皆様及び事業者様への支援を行ってきました。

例) 省エネ家電製品に買い替えた方へ最大 30,000 円の補助

小中学校の保護者へ給食費の一部（１食当たり 30 円）補助

プレミアム付商品券（5,000 円で額面 8,000 円分）を発行 等

そこで今後の支援策の参考とさせていただくため、おたずねします。

問１５.

物価高騰の現状に対応するための支援としてどのような取組があるとよいでしょうか。
ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

【問１６】

最後に、市政全般についてご意見をうかがいます。

問１６.

まちづくりについてのご意見やアイデア、総合計画や市政運営、市役所職員などに対するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

紙の調査票で回答される場合は同封の返信用封筒に入れて８月２２日（金）までに郵便ポストに投函してください（切手不要です）。

新城市

市民満足度調査結果報告書

発行年月：令和7年12月

発行：新城市 企画部 企画調整課
〒441-1392

愛知県新城市字東入船 115 番地

電話：0536-23-7620